

# 天下一五ヶ瀬かわまちアクションプラン(第4版)



平成 29 年 8 月

天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会

# 天下一五ヶ瀬川かわまちアクションプラン（第4版） 目次

はじめに	1
1. 「五ヶ瀬川かわまちづくり」について	2
(1) 「五ヶ瀬川かわまちづくり」の取り組み	2
(2) 「五ヶ瀬川かわまちづくり」の検討・実践の経緯	4
(3) 五ヶ瀬川かわまちづくりによる「かわまちづくり効果」	6
2. 天下一五ヶ瀬川かわまちアクションプラン	8
(1) 回遊できる散策路 アクションプラン	10
1) マラソン大会の復活	12
2) 豊堤周辺整備と石像の利用を中心とした啓発活動	14
3) 河川敷を活用した散策利用	16
(2) 文化・自然活動ゾーン アクションプラン	18
1) 五ヶ瀬川を活用した観光振興（延岡花物語～このはなウォーク～）	20
2) ふるさとの川、五ヶ瀬川の魅力再発見 （リバーフェスタのべおか・お父さんお母さんのための川遊び村）	22
3) 年間を通じた日常利用	24
(3) 自然の恵み体験拠点 アクションプラン	26
1) 「鮎やな」を中心とした観光振興	28
2) 大貫地区改修整備に合わせた年間日常利用	30
3) カヌーツーリングを中心としたまちなかつアー	32

## はじめに

延岡市は、市街地の中心部を五ヶ瀬川、大瀬川が貫流し、五ヶ瀬川に合流する祝子川、北川など幾筋もの川が流れる街並みは「水郷のべおか」と称されています。

「清流五ヶ瀬川」の名にふさわしく、平成23年以降は全国でも高水準の水質を保っており、また、自然豊かで貴重なオープンスペースである河川敷においては多くの市民が遊歩道の散策や余暇活動の場として利活用しており、「五ヶ瀬川」を活かした市民の利活用ニーズの高い地域と言えます。

古くから「鮎やな漁」が行われ、近年では「五ヶ瀬川イカダ下り大会、リバーフェスタのべおか、花火大会」などのイベントが開催されており、貴重な歴史的治水施設である「壘堤」も残っているなど、延岡市は多くの河川空間・素晴らしい水環境と共存しています。

今後、東九州自動車道の全線開通に伴って観光・流通などの活性化が期待されていますが、その活性化対策の一つとして、歴史ある延岡・五ヶ瀬川を外部にPRできる魅力・資源と連携したまちづくり・かわづくりが求められているところです。

このような背景のもと、地域住民や延岡市、五ヶ瀬川の管理者である国土交通省等で組織した「五ヶ瀬川かわまちづくり検討会」を設立し、延岡市の「まちづくり」と五ヶ瀬川の「かわづくり」が一体となり、五ヶ瀬川を軸とした地域の活性化や地域交流の促進、河川空間利用者の安全性の向上など、様々な議論を行い、平成25年1月に「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を策定しました。

その後、実践組織として「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」を設立し、「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を実践するため、整備・利用・管理の方策について具体的な議論を積み重ねてきました。

「天下一五ヶ瀬かわまちアクションプラン」は、地域の重要な資源である五ヶ瀬川の河川空間を活かした“かわまちづくり”を考え、全国に誇れる天下一の川づくり・まちづくりを目指し、地域の自立的・持続的な活性化に貢献することを目的に、具体的に実践していくための手順や解決すべき課題等を取りまとめたものです。

今後も参画していただける方を広く募りながら、「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」は、“具体的な活動”を“継続的に実践”していきます。

平成26年9月24日  
天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会

# 1. 「五ヶ瀬川かわまちづくり」について

## (1) 「五ヶ瀬川かわまちづくり」の取り組み

### ■目的

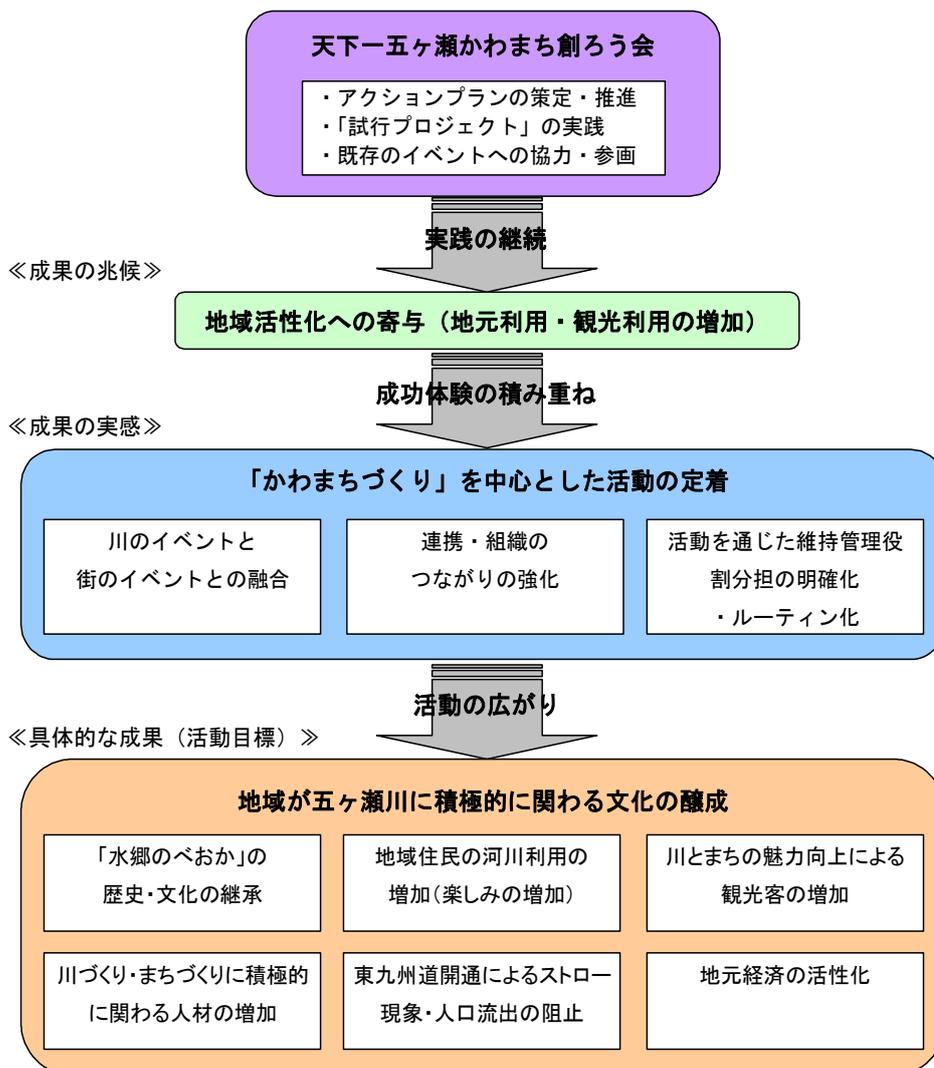
延岡市、地域住民や関係機関等との緊密な連携を図り、より地域に役立つような五ヶ瀬川らしさを活かしたまちづくりを推進していくことを目的とするものです。

延岡市の「まちづくり」と五ヶ瀬川の「かわづくり」が一体となった“かわまちづくり”として、地域の自立的・持続的な活性化および河川利用者の安全性向上のために、拠点を活かした整備や継続的な利活用・維持管理を具体的に計画・実践したものです。

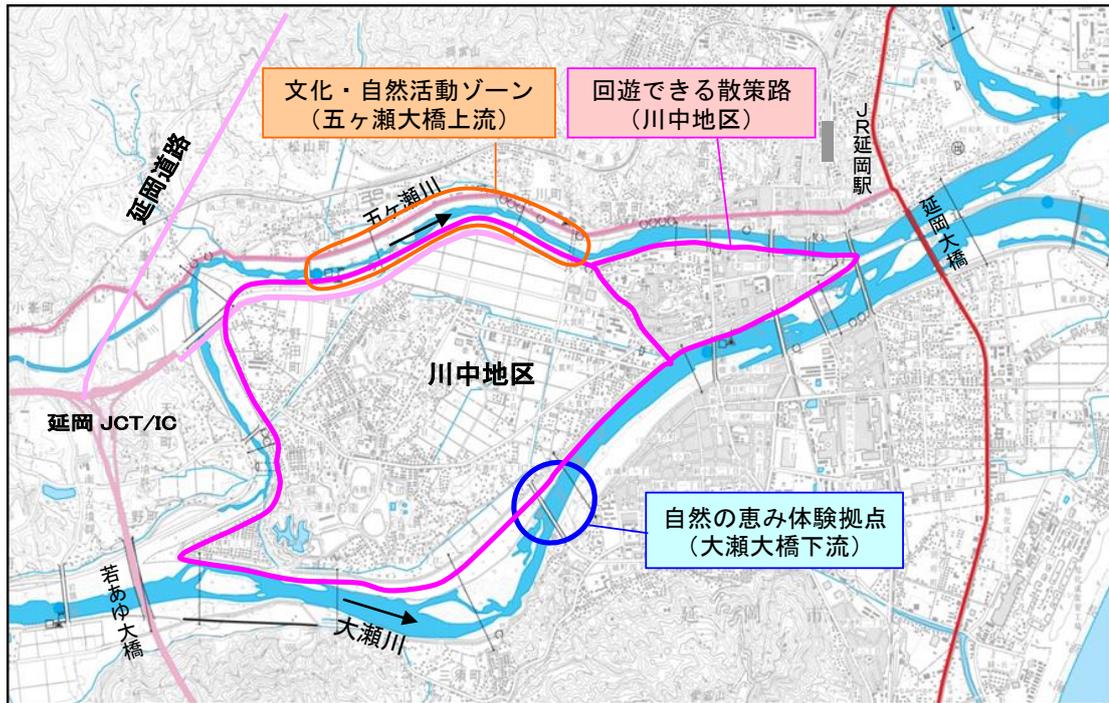
### ■天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会の活動

～活動のコンセプト～  
天下一の川づくり、まちづくりを目指す！

《五ヶ瀬川かわまちづくりの取り組み》



## ■対象拠点



## ■各拠点のコンセプト

### (1) 回遊できる散策路（川中地区）

- ・地域住民が自然豊かな清流五ヶ瀬川の魅力を感じられるとともに、日常の中で川にふれあえる文化を育みます。
- ・そのために、川沿いを散策することで自然（季節）と歴史・文化を感じることができる周遊可能なコースを整備します。

### (2) 文化・自然活動ゾーン（五ヶ瀬大橋上流）

- ・自然環境の保全を図りつつ、地域のまつり・イベントの拠点にもなりうる水辺空間を創出し、地域全体の活性化を図ります。
- ・今後はリバーフェスタをはじめ、城山公園を中心とした城下町のべおかの各種イベントが開催できる場所として、利活用・整備・維持管理体制を整備します。

### (3) 自然の恵み体験拠点（大瀬大橋下流）

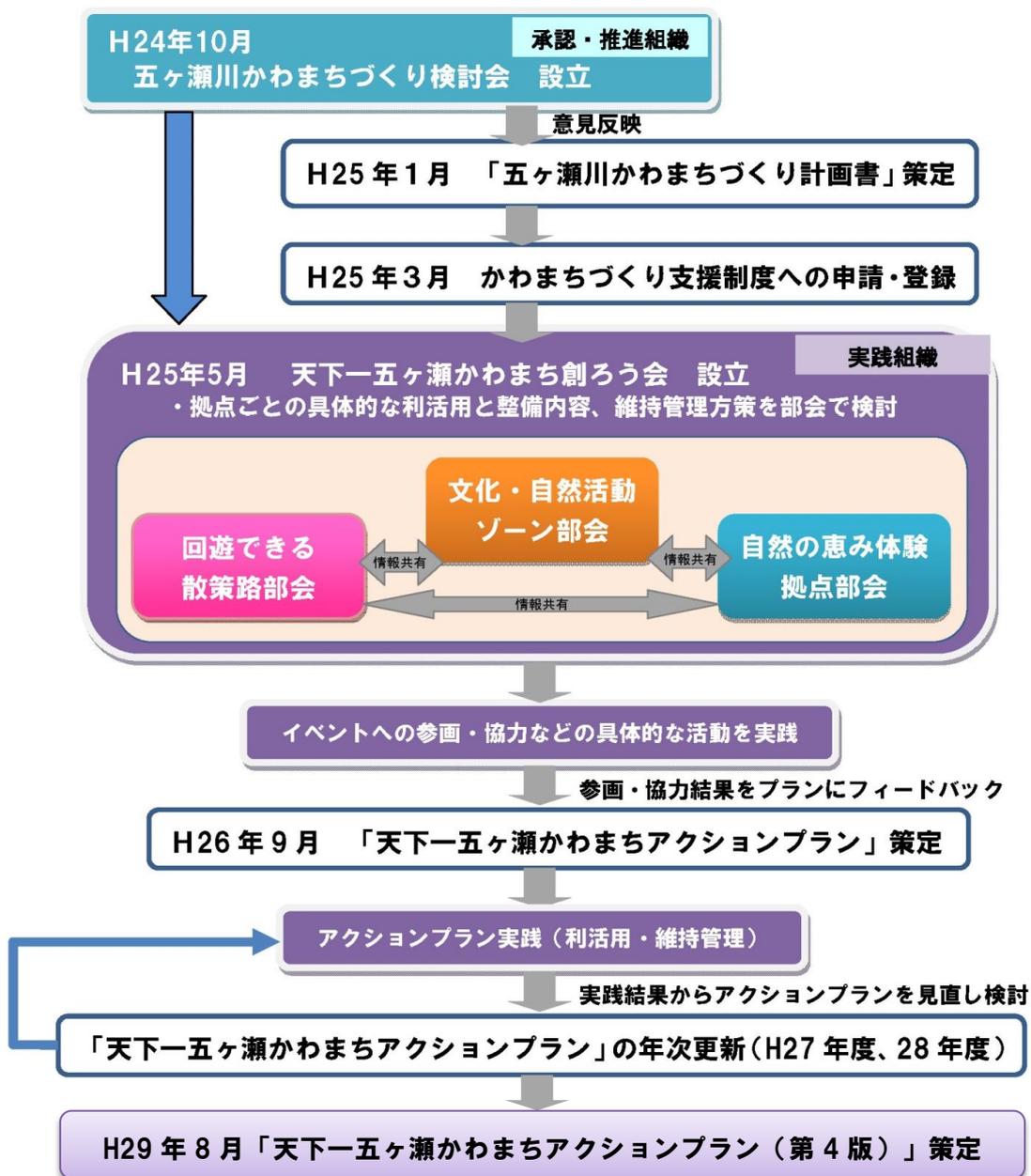
- ・歴史ある延岡・五ヶ瀬川を外部にPRできる魅力・資源との連携により観光客を呼び込むことで、地域全体の活性化を図ります。
- ・流域の豊かな自然環境を活かし、自然の恵みを味わう拠点、自然体験の活動拠点としての活用を図ります。

## (2) 「五ヶ瀬川かわまちづくり」の検討・実践の経緯

平成 24 年 10 月に地域住民、学識者、延岡市、宮崎県、国土交通省の連携のもと、「五ヶ瀬川かわまちづくり検討会」が設立されました。同検討会により「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」が策定され、平成 25 年 5 月には実践組織となる「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」（以下、創ろう会）を設立されました。

創ろう会では、イベントへの参画・協力等の実践活動を行いながら、より具体的な整備・利活用・維持管理等の取り組みを検討し、平成 26 年 9 月に「アクションプラン」を策定し、実践結果をもとにプランを見直しながら年次更新を行っています。

この「天下一五ヶ瀬かわまちアクションプラン（第 4 版）」は、プラン運用から 3 年間が経過し、実践活動の成果とともに出てきた課題を踏まえて見直し、新たに改訂を行ったものです。



■ 天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会 設立からの活動記録（～H28年度）

	回	時期	内容	
H24	第1～4回検討会	平成24年度	・五ヶ瀬川かわまちづくり計画策定・実践組織の設立	
H25	第1～3回創ろう会 (第1回は合同検討会)	平成25年5月～7月	・創ろう会のキックオフ・部会の立ち上げ ・今年度の活動の方向性を決定	
	既存イベントへの参画	平成25年8月2日	・リバーフェスタのべおかの準備協力(草刈り清掃等)	
	既存イベントへの参画	平成25年8月4日	・リバーフェスタのべおかへの参画	
	第4～5回創ろう会	平成25年8月～9月	・既存イベント参画の振り返り・課題抽出・メニュー検討	
	新規イベントへの参画	平成25年10月27日	・置堤かわまち灯りの準備協力(草刈り清掃等)	
	第6～8回創ろう会	平成25年11月～1月	・利活用に必要な整備・維持管理・アクションプラン検討	
	既存イベントへの参画	平成26年2月14～16、23日	・延岡花物語への参画・このはなマラソン練習会への参画	
	第9回創ろう会	平成26年2月26日	・アクションプランの決定・来年度の活動内容確認	
	既存イベントへの参画	平成26年3月16日	・延岡アースデイへの参画	
H26	新規イベントの実践	平成26年4月27日	・カヌーツーリング in 五ヶ瀬川の開催	
	部会の個別開催	(平成26年度計14回)	・お父さん、お母さんのための川遊び村の企画	
	イベント前の維持管理	平成26年7月12日	・五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃	
	新規イベントの実践	平成26年7月20日	・お父さん、お母さんのための川遊び村の開催	
	第10～11回創ろう会 (第11回は合同検討会)	平成26年9月～10月	・「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」の活動報告 ・アクションプランの策定と内容について	
	部会の個別開催	平成26年10月29日	・散策コース設定・見所の確認・修正	
	第12回創ろう会	平成26年11月10日	・合同検討会結果の報告・アクションプランについて	
	定期的な維持管理	平成26年11月15日	・五ヶ瀬川 置堤周辺の草刈り・清掃	
	第13～14回創ろう会	平成26年12月～1月	・整備進捗状況の報告・アクションプランの更新について	
	イベント前の維持管理	平成27年1月25日	・五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃	
	新規イベントの実践	平成27年2月15日	・このはなマラソン練習会の開催	
	既存イベントへの参画	平成27年2月21日	・延岡花物語への参画	
	第15回創ろう会	平成27年3月2日	・アクションプランの更新内容の決定	
	H27	部会の個別開催	(平成27年度計11回)	・お父さん、お母さんのための川遊び村の企画
		継続イベントの実践	平成27年4月26日	・カヌーツーリング in 五ヶ瀬川の開催
イベント前の維持管理		平成27年7月11日	・五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃	
継続イベントの実践		平成27年7月20日	・お父さん、お母さんのための川遊び村の開催	
既存イベントへの参画		平成27年8月2日	・リバーフェスタのべおかへの参画	
第16回創ろう会 (合同検討会)		平成27年9月25日	・平成26年度の活動報告・アクションプランの更新 ・今年度の進め方について	
定期的な維持管理		平成27年9月27日	・五ヶ瀬川 置堤周辺の草刈り・清掃	
第17回創ろう会		平成27年10月26日	・中長期の取組み・整備後の日常利用方法について	
部会の個別開催		平成27年12月3日	・水辺利用の新たな候補地の現地踏査	
第18回創ろう会		平成27年12月14日	・プラン実践方法・アクションプランの更新について	
部会の個別開催		平成28年1月14日	・カヌーツーリング実施箇所選定の現地踏査	
部会の個別開催		平成28年1月18日	・散策マップ普及のための意見交換会	
イベント前の維持管理		平成28年2月7日	・五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃	
第19回創ろう会		平成28年2月8日	・アクションプランの更新内容の決定	
H28		既存イベントへの参画	平成28年2月27・28日	・延岡花物語への参画
	継続イベントの実践	平成28年3月20日	・このはなマラソン練習会の開催	
	部会の個別開催	(平成28年度計6回)	・お父さん、お母さんのための川遊び村の企画	
	継続イベントの実践	平成28年5月22日	・カヌーツーリング in 五ヶ瀬川の開催	
	イベント前の維持管理	平成28年7月2日	・五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃	
	継続イベントの実践	平成28年7月18日	・お父さん、お母さんのための川遊び村の開催	
	第20回創ろう会 (合同検討会)	平成28年8月2日	・「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」の活動報告 ・アクションプラン更新内容の承認	
	既存イベントへの参画	平成28年8月7日	・リバーフェスタのべおかへの参画	
	第21回創ろう会	平成28年8月22日	・今年度の取組みについて	
	定期的な維持管理	平成28年8月28日	・五ヶ瀬川 置堤周辺の草刈り・清掃	
	部会の個別開催	平成28年9月26日	・マラソン大会の復活について	
	部会の個別開催	平成28年10月18日	・ウォーキングマップコースの踏査	
既存イベントへの組込	平成28年12月18日	・延岡歩こう会主催の「散策会」でのマップの活用		
第22～23回創ろう会	平成28年11月～2月	・新アクションプランの内容について		
部会の個別開催	平成29年3月17日	・まちなかカヌーの企画、広場利用案内看板内容		

### (3) 五ヶ瀬川かわまちづくりによる「かわまちづくり効果」

#### 五ヶ瀬かわまちづくりの活動目標に沿った「かわまちづくり効果」

##### ①「水郷のべおか」の歴史・文化の継承

- ・ 壘堤は近年の様々な受賞により脚光を浴びつつあります。
- ・ 鮎やなについても食事処が目標の入込客数2万人を超え、好調です。



壘堤が土木学会選奨土木遺産に認定



鮎やな 平成 27 年は初の 2 万人越え

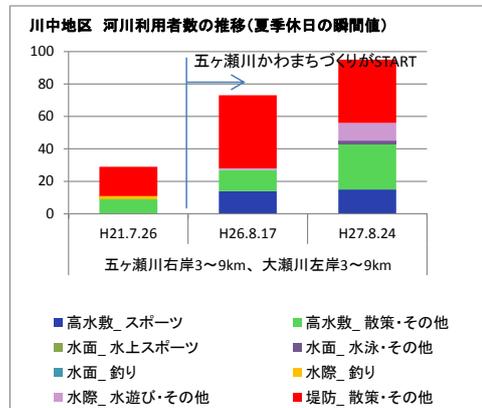


歴史・文化を紹介したマップを作成配布

##### ②地域住民の河川利用の増加(楽しみの増加)

- ・ 五ヶ瀬川・大瀬川の川中地区全体の日常利用者が近年増加中です。(グラフは夏季休日)
- ・ 取組み開始以来、高水敷でのスポーツや散策等の利用者が大きく増加しました。

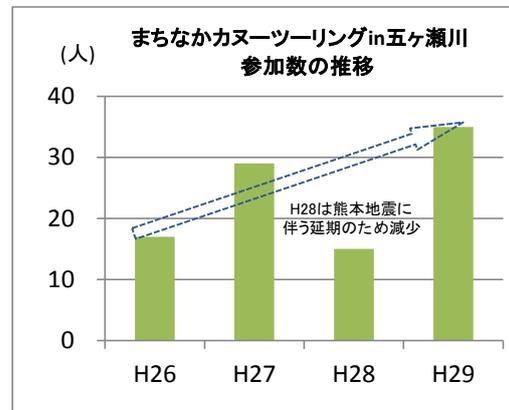
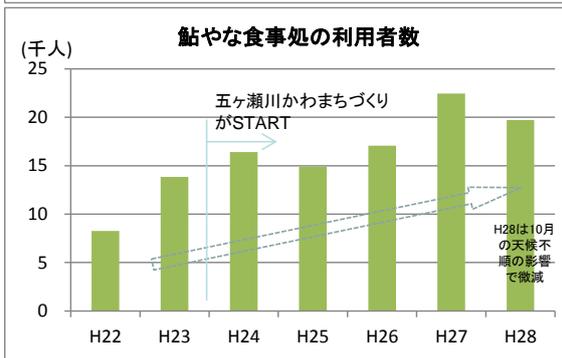
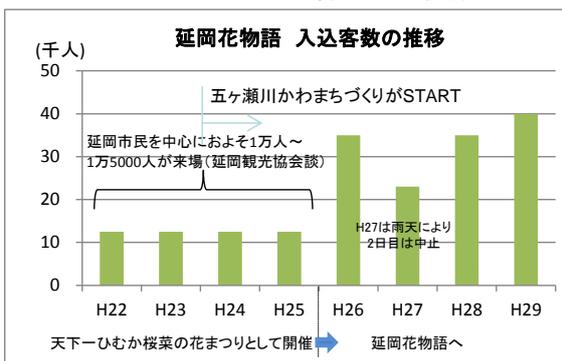
⇒地域住民の河川利用の増加⇒楽しみの増加



##### ③川とまちの魅力向上による観光客の増加

- ・ 延岡花物語 (約 40,000 人集客)
- ・ 鮎やな (約 20,000 人集客)
- ・ カヌーツーリング (約 35 人集客)

⇒ 「五ヶ瀬川かわまちづくり」の取り組みが始まって以来、いずれの取り組みも好調に来訪者・参加者数を延ばしてきています。(カヌーツーリングは新たな企画)



## 五ヶ瀬かわまちづくりの活動目標に沿った「かわまちづくり効果」

### ④川づくり・まちづくりに積極的に係る人材

- ・これまで様々な利活用計画を立上げ実践してきた過程で、活動に際してのノウハウが日々積み上げられてきました。
- ・延岡花物語は、五ヶ瀬川かわまちづくりから既存の祭りが大規模かつ広範囲に発展しました。

⇒これにより、「五ヶ瀬川かわまちづくり」を通じた団体間の横の繋がりが、共助の関係が強くなりました。



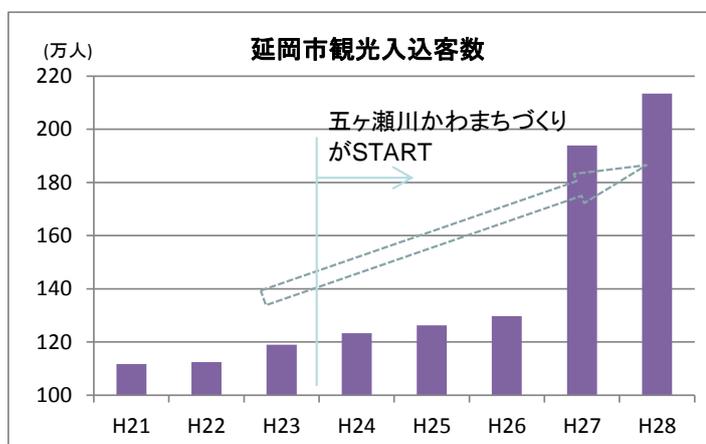
天下一ひむか桜の会が、国土交通大臣表彰を受賞(グランプリ受賞の挨拶をする松田代表(平成29年1月))



五ヶ瀬川かわまちづくりを通して新たに立ち上がった企画  
「お父さんお母さんのための川遊び村」「このはなマラソン練習会」「まちなかカヌーツーリング in 五ヶ瀬川」「量堤かわまち灯り」

### ⑤東九州道によるストロー現象・人口流出の阻止、⑥地元経済の活性化

- ・ストロー現象・人口流出の阻止（ずっと住みたくなる魅力的な街へ）  
⇒市外・県外からの延岡への観光入込客数では平成23年から一貫して増加傾向です。
- ・延岡花物語、鮎やな、カヌーツーリングの入込客数が取り組み以来増加しています。  
⇒魅力的なまちづくりにもある程度寄与しているものと考えられます。
- ・そのほか、入込客数の増加に伴うイベント会場での消費活動の増加、観光客数の増加による、延岡市内での食事・宿泊・お土産等の消費などなど…  
⇒「五ヶ瀬川かわまちづくり」の取り組みが地元経済の活性化にもある程度寄与しているものと考えられます。

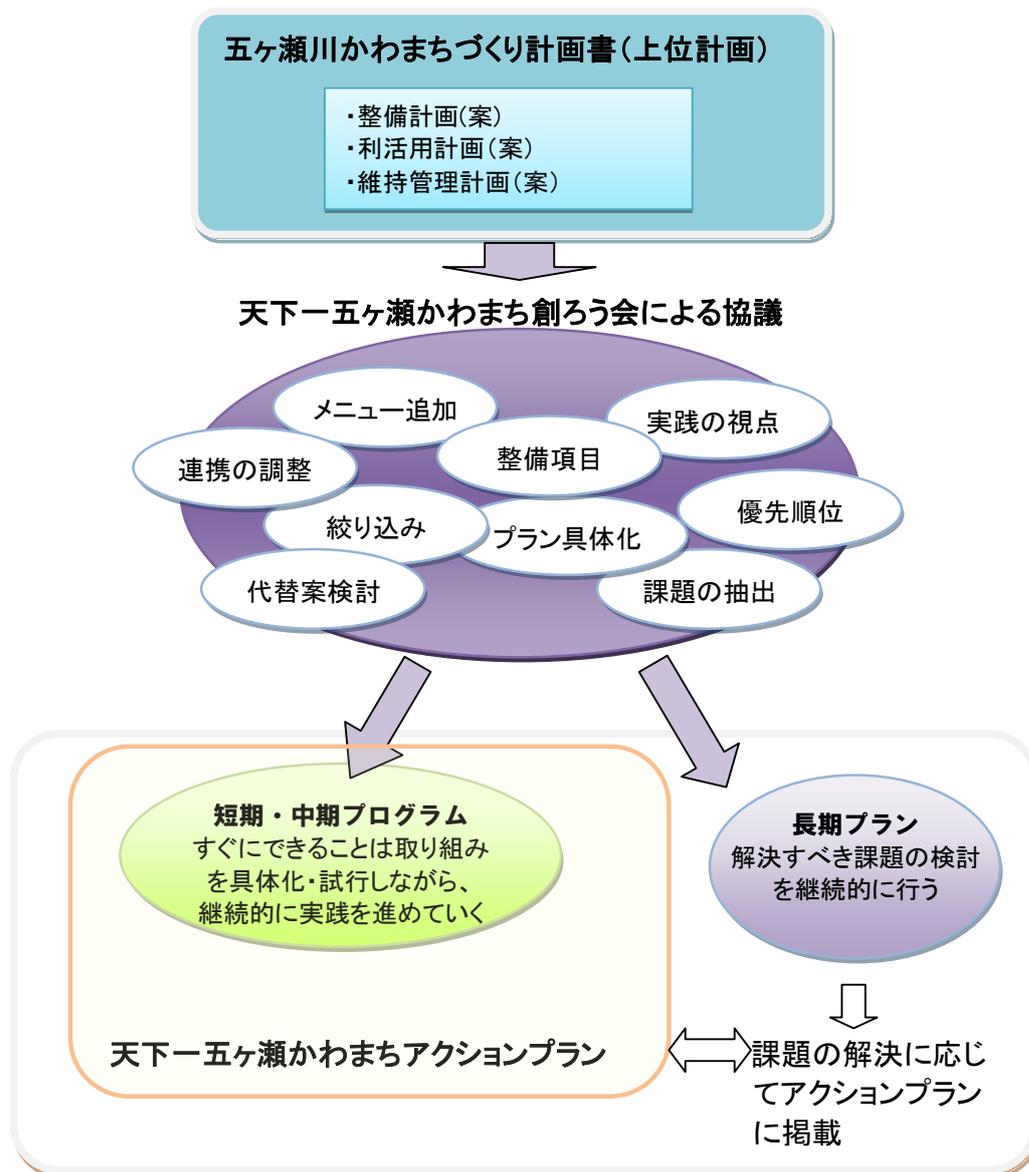


※平成27年～の入込客増は、高速道路開通効果による利用者数増のほか、新たな道の駅などの施設追加等による。

## 2. 天下一五ヶ瀬かわまちアクションプラン

### ■アクションプランの位置づけ

アクションプランに基づき、取り組みの実践と評価を図りながら、五ヶ瀬川かわまちづくりの目標である「水郷のべおか」の歴史・文化を継承し、地域の活性化、観光振興を図り、地域住民の河川利用の増加（楽しみの増加）を促進することを目指します。



- 「五ヶ瀬川かわまちづくり計画書」を踏まえたもの
- 「天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会」で協議された種々のプログラム
- その中で、整備も含めて実践可能なプログラムの行動計画をできるだけ具体的に整理したもの

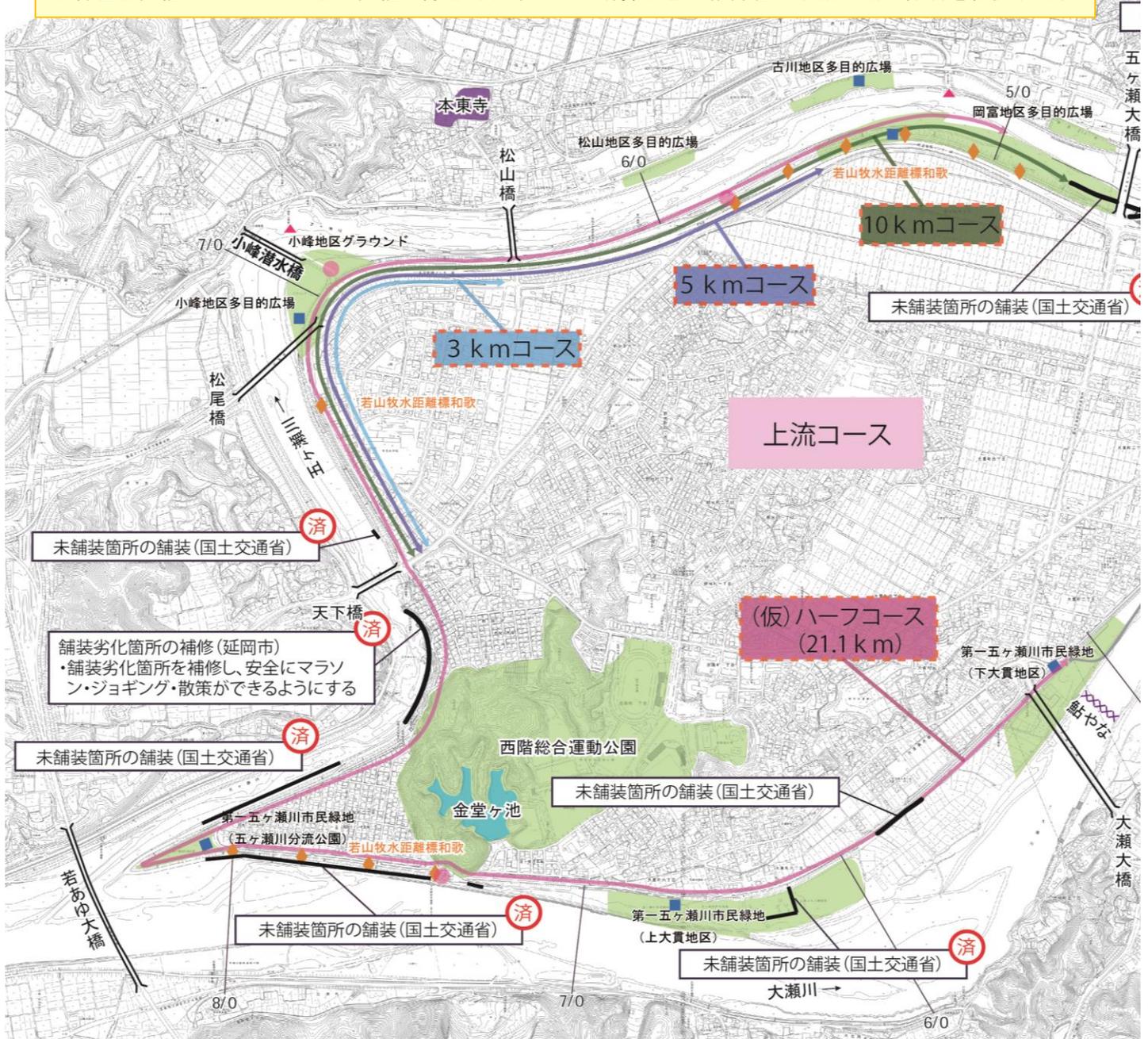
■アクションプランの内容

アクションプラン	取り組み成果	アクションプランの内容	H29	H30	H31
<b>(1) 回遊できる散策路(川中地区)</b>					
1) マラソン大会の復活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンコース設定</li> <li>・マラソン練習会の開催に併せた散策路を整備・改修</li> <li>・整備したコースで「このはなマラソン練習会」開催 (H26～)</li> </ul>	・引き続き、可能な箇所から回遊散策路を整備・距離標示	●	●	
		・平成30年を目標にマラソン大会復活を計画		●	
		・マラソン練習会等の開催に合わせ草刈り・清掃体制の検討	●	●	●
2) 畳堤周辺整備と石像の利用を中心とした啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畳堤かわまち灯りの開催(H25)</li> <li>・畳堤周辺の草取りボランティアへの参画・協力</li> <li>・畳堤沿いの散策路整備(畳堤プロジェクト)</li> </ul>	・畳堤プロジェクトの推進	●	●	
		・畳堤周辺の草刈り・清掃活動の協力体制の検討	●	●	●
		・広報・啓発活動への支援	●	●	●
3) 河川敷を活用した散策路利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩き散策コース設定</li> <li>・まち歩き散策コースマップ作成</li> <li>・観光利用促進のための各方面へのPR、コースマップの配布</li> <li>・QRコードを活用した「距離標かわまち周辺情報」の提供</li> </ul>	・回遊できる散策路の整備	●	●	
		・散策マップの広報・散策実践	●	●	●
		・コースの案内と人材育成	●	●	●
		・散策路周辺の定期的な維持管理活動の協力体制の検討	●	●	●
<b>(2) 文化・自然活動ゾーン(五ヶ瀬川大橋上流)</b>					
1) 五ヶ瀬川を活用した観光振興(延岡花物語～このはなウォーク～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「延岡花物語」への協力・参画(開催前の草刈り・清掃活動、当日のスタッフ参画)</li> <li>・水道設備を整備し、河津桜の立ち枯れ対策を実施</li> <li>・桜・菜の花の維持管理組織化</li> </ul>	・延岡花物語への支援の継続	●	●	●
		・河津桜と菜の花の維持管理の将来の課題に対する検討(ハードとソフトの連携)	●	●	●
		・将来の維持管理の担い手の募集	●	●	●
2) ふるさとの川、五ヶ瀬川の魅力再発見(リバーフェスタのべおか、お父さんお母さんのための川遊び村)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなプログラム「お父さん、お母さんのための川遊び村」を開催(H26～)</li> <li>・「リバーフェスタのべおか」への継続的な支援</li> </ul>	・利活用に合わせた高水敷・水際部の整備	●	●	
		・「リバーフェスタのべおか」への継続的な支援	●	●	●
		・「お父さん、お母さんのための川遊び村」の継続開催	●	●	●
		・水質日本一を目指した啓発活動	●	●	●
		・散策路・高水敷の草刈り清掃	●	●	●
3) 年間を通じた日常利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな拠点探索・現地確認</li> <li>・散策・ジョギング利用を中心に据えた整備内容の変更</li> </ul>	・散策・ジョギング利用促進	●	●	●
		・年間利用プログラムの企画検討	●	●	●
<b>(3) 自然の恵み体験拠点(大瀬大橋下流)</b>					
1) 「鮎やな」を中心とした観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場利用と併せた「かわまち交流館」の利用方を提案(かわまち交流館の年間利用検討は、別途検討委員会に検討を引き継ぎ)</li> </ul>	・広場利用と建物の一体的な利用方策検討	●	●	●
		・鮎やな設置時期に合わせた観光振興策の検討	●	●	●
2) 大貫地区改修整備に合わせた年間日常利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高水敷整正と多目的広場を整備(大貫水辺プロジェクト)</li> </ul>	・新たな河川空間利用の検討	●	●	●
		・利用と管理のルール設定による維持管理の仕組みづくり	●	●	●
		・古城地区の利用に係る情報共有	●	●	●
3) カヌーツーリングを中心としたまちなかツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなプログラム「まちなかカヌーツーリング in 五ヶ瀬川」を開催(H26～)</li> </ul>	・「まちなかカヌーツーリング in 五ヶ瀬川」の定着化	●	●	●
		・参加者を募るための広報の取り組み	●	●	●
		・定期的な開催に向けた利用調整の継続	●	●	●

# (1) 回遊できる散策路（川中地区） アクションプラン

## 1) マラソン大会の復活 アクションプラン

- 回遊できる散策路の整備について、引き続き可能な箇所から整備を進める。
- 整備された散策路を使ったマラソン（ジョギング）コースを設定し、スタート地点からの距離がわかるように距離表示を行うとともに、設定したコースについて市民へPRを行う。
- 整備されたコースでの練習会を開催する一方で、平成30年を目指し、「延岡走ろう会」が中心となってマラソン大会復活の取り組みを進める。地元の関係団体で構成する実行委員会を立ち上げ、具体的な開催に向けた協議を進める。
- 練習会開催やマラソン大会の開催に際して、草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討する。



### 《引き続き検討すべき事項》

#### 1) マラソン大会の復活

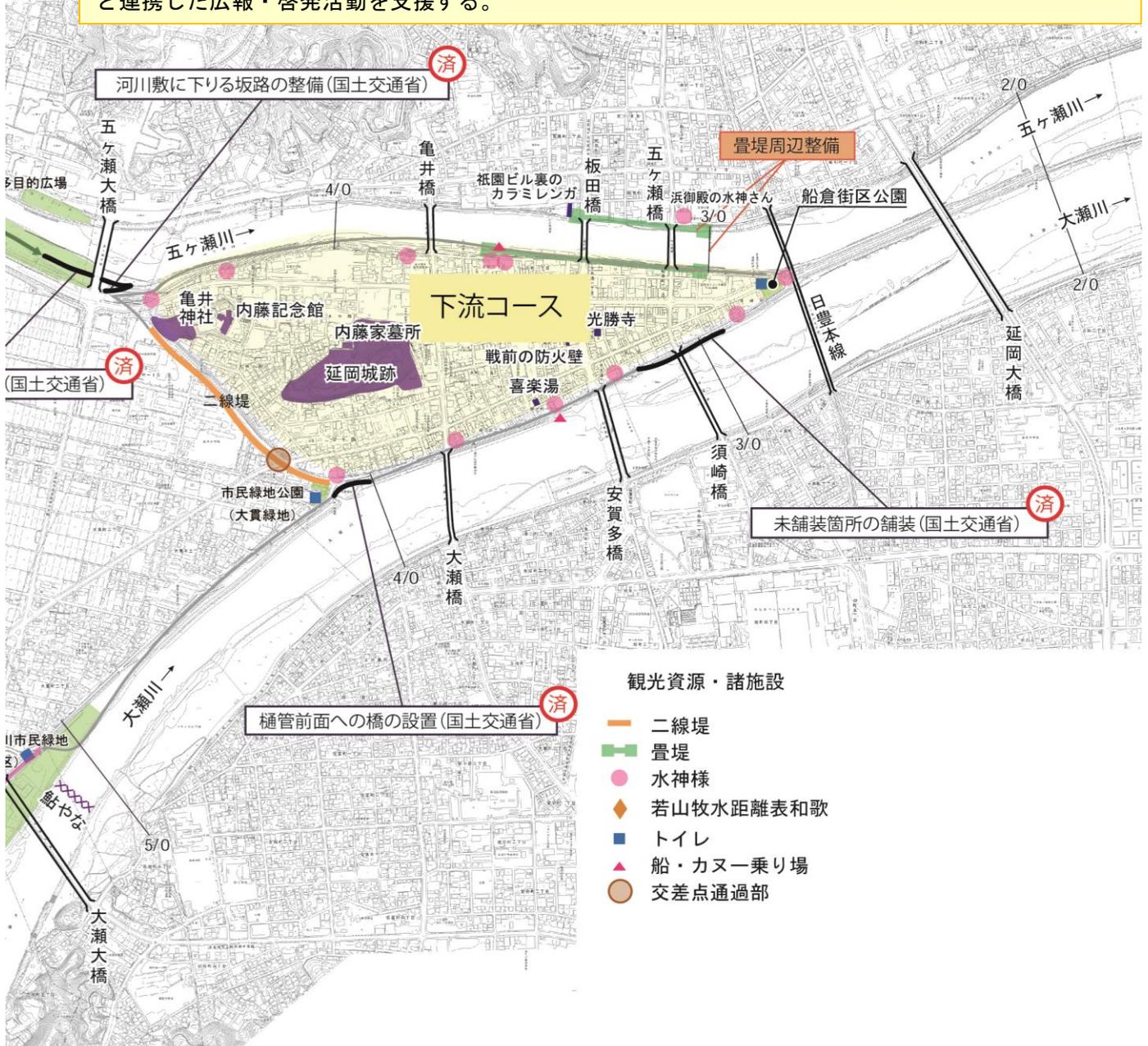
- ・平成30年のマラソン大会復活を目指し、地元の関係団体で構成する実行委員会を立ち上げるために各方面への協力要請が必要です。

#### 3) 河川敷を活用した散策利用

- ・散策意欲を高めるために、散策コースに沿って次の見所紹介のサイン設置等の検討が必要です。
- ・延岡市の補助制度「健康長寿ポイント」等、既存の補助制度の活用検討が必要です。

## 2) 畳堤周辺整備と石像の利用を中心とした啓発活動 アクションプラン

- 畳堤周辺の散策路整備を進め、今後の畳堤に関する取り組みを考える「畳堤プロジェクト」を推進する。
- 畳堤周辺の草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討する。
- 歴史・文化資源の畳堤を延岡の観光に結びつけるために、五ヶ瀬川の畳堤を守る会が行う小中学校と連携した広報・啓発活動を支援する。



## 3) 河川敷を活用した散策利用 アクションプラン

- 「かわ」と「まち」を結ぶための「回遊できる散策路」の整備を進める。
- 市街地部も含めた魅力ある施設を回るなどの散策コースを設定し、JR九州ウォーキング等との連携による、散策利用者の増加を検討する。また、延岡市民に地域の魅力を知ってもらうためのマップの設置、市民対象の散策を実践する。
- 歴史解説や散策コースの案内について、ボランティア協会等との連携による案内実施を検討するほか、これらの歴史情報等を学習し、案内人を育成することも必要となることから、人材育成の取り組みについての検討を行う。
- 散策路周辺の定期的な草刈りや清掃など、維持管理活動の協力体制を検討する。

## 回遊できる散策路 アクションプラン



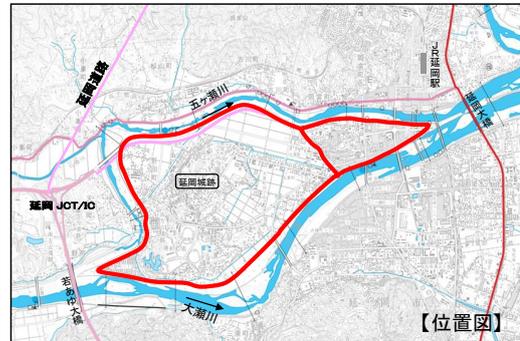
## 1) マラソン大会の復活

### ■概要

川中地区ではかつて、「のべおか若鮎マラソン大会」が開催されていましたが、交通事情やコースの安全確保の面から、平成 18 年の第 30 回大会を最後に実施が途絶え、今では、高水敷や堤防上の一部を使った、天下一ひむか桜菜の花まつりに合わせた「ミニマラソン」や、「五ヶ瀬川リレーマラソン大会」が開催されています。

こうした中で、平成 26 年から、川中地区上流部で新たに整備された回遊できる散策路等を利用した、「のべおかのこのはなマラソン練習会」が行われました。

回遊できる散策路部会では、延岡アスリートタウン構想や延岡走ろう会のメンバーからの要望を踏まえ、川中地区の回遊できる散策路の上流域と下流部の全域をコースとした「ハーフマラソン大会（このはなマラソン大会）」の開催を目指そうと考えたものです。



### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
このはなマラソン練習会への参画	平成 26 年 2 月 23 日	回遊できる散策路を活用したマラソン練習会 (10km、5km、3km を)を開催
マラソン(ジョギング)コースの設定	—	回遊できる散策路を使ったマラソン(ジョギング)コース(1.5km、3km、5km、10km、ハーフ)を設定
歩・走・輪 ing-Path プロジェクト	平成 26 年 11 月 25 日~	利用者の意見を聴取しながら回遊できる散策路の舗装整備を実施
このはなマラソン練習会の開催	平成 27 年 2 月 15 日	整備された散策路を活用したマラソン練習会 (1.5km、3km、5km、10km、ハーフ・ウォーキング)を開催
このはなマラソン練習会の開催	平成 28 年 3 月 20 日	整備された散策路を活用したマラソン練習会 (1.5km、3km、5km、10km、ハーフ・ウォーキング)を開催
このはなマラソン練習会の開催 (雨天中止)	平成 29 年 2 月 5 日	開催当日の雨天によりやむなく中止



このはなマラソン練習会の開催状況(平成 27 年 2 月 15 日)

## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■このはなマラソン練習会の盛り上がり

歩・走・輪 ing-Path プロジェクトによる散策路整備により高水敷の広い範囲を走れるようになりました。これにより延岡走ろう会を中心とした「このはなマラソン練習会」が開催されるようになり、平成 28 年 3 月に第 3 回が開催されました。

項目	活動詳細
第 1 回開催 (平成 26 年 2 月 23 日)	参加者はスタッフ含め <u>100 名程度</u> 。 「延岡走ろう会」単独で開催(イベント保険等の準備無いなど、安全管理リスク対応など取れていなかった)。
第 2 回開催 (平成 27 年 2 月 15 日)	参加者はスタッフ含め <u>200 名程度(前年比で倍増)</u> 。 「延岡走ろう会」を主体に回遊できる散策路部会で補助(イベント保険等を新たに準備)。
第 3 回開催 (平成 28 年 3 月 20 日)	参加者はスタッフ含め <u>100 名程度</u> 。 ほぼ「延岡走ろう会」単独で開催(今回からイベント保険のため 200 円の参加費を徴取)。
第 4 回開催 (平成 29 年 2 月 5 日)	開催当日の雨天によりやむなく中止。

### ■マラソン大会復活のための事務分担等について具体的な協議が進行中

現在、これまで延岡走ろう会単独での実施が困難とされた参加受付やタイム記録等の事務作業の分担について、協力組織とともに個別協議で進行中です。

大会コースは、現在練習会を開催している上流側に 10 k m コースを設定する方向で検討しています。

今後は、平成 30 年をマラソン大会復活の目標時期に設定し、延岡走ろう会を中心とする大会実行委員会が立ち上げるように協議調整を行っています。



企画会議の様子

## アクションプラン

- 回遊できる散策路の整備について、引き続き可能な箇所から整備を進める。
- 整備された散策路を使ったマラソン(ジョギング)コースを設定し、スタート地点からの距離がわかるように距離表示を行うとともに、設定したコースについて市民へ PR を行う。
- 整備されたコースでの練習会を開催する一方で、平成 30 年を目指し、「延岡走ろう会」が中心となってマラソン大会復活の取り組みを進める。地元の関係団体で構成する実行委員会を立ち上げ、具体的な開催に向けた協議を進める。
- 練習会開催やマラソン大会の開催に際して、草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討する。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・平成 30 年のマラソン大会復活を目指し、地元の関係団体で構成する実行委員会を立ち上げるために各方面への協力要請が必要です。



## 2) 畳堤周辺整備と石像の利用を中心とした啓発活動

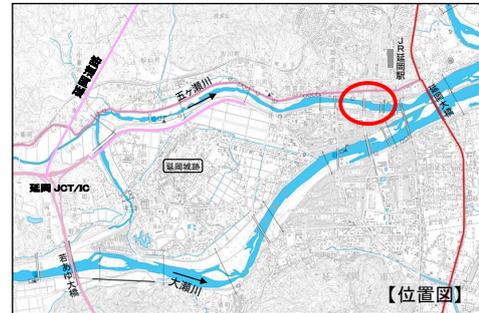
### ■概要

五ヶ瀬川市街地部には歴史的治水施設として全国に3例しかない「畳堤」でも建設年が最も古いものが残っており、地域住民自らが防災活動を行ってきた証として地域の防災意識向上のシンボルになっています。

近年は、地域の畳堤の認識も薄れつつあるため、「五ヶ瀬川の畳堤を守る会」が中心となって畳堤のPRを通じた防災意識の啓発に取り組んでいます。

畳堤を観光資源として活用するため、平成25年からは「畳堤かわまち灯り」の取り組みや畳堤周辺の草取りボランティアへの参画・協力を行っているほか、平成28年11月には畳堤に畳を差し込む様子の石像が設置されました。

今後も畳堤周辺の整備を進めるとともに、五ヶ瀬川の防災意識の啓発を継続していくことを目指します。



### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
畳堤かわまち灯りの準備協力(草刈り清掃等)	平成25年10月27日	「五ヶ瀬川かわまちあかり」会場の事前準備(草刈り等)
畳堤かわまち灯りの一斉点灯	平成25年11月4日	五ヶ瀬川両岸での畳堤かわまち灯りの一斉点灯(北東の風により右岸消灯、ほぼ左岸のみ点灯)
五ヶ瀬川畳堤 草取りボランティアへの参画・協力	平成26年11月15日	五ヶ瀬川畳堤沿いの堤防・散策路の草取り清掃
畳堤沿いの散策路整備(畳堤プロジェクト)	平成26年8月6日~	畳堤の維持管理や周辺の安全な散策利用を目的に、地域と連携した畳堤周辺の整備を実施
五ヶ瀬川畳堤 草取りボランティアへの参画・協力	平成27年9月27日	五ヶ瀬川畳堤沿いの堤防・散策路の草取り清掃
五ヶ瀬川畳堤 草取りボランティアへの参画・協力	平成28年8月28日	五ヶ瀬川畳堤沿いの堤防・散策路の草取り清掃
石像の設置・除幕式	平成28年11月28日	五ヶ瀬川の畳堤を守る会が畳堤に差し込む石像を設置



畳堤かわまち灯りの準備協力



畳堤プロジェクト



石像の設置



## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■五ヶ瀬川の畳堤を守る会を中心とした維持管理活動が定着

五ヶ瀬川の畳堤を守る会が中心となり、毎年畳堤周辺の草取りボランティア清掃が開催されており、毎年の行事として定着しつつあります。

項目	活動詳細
畳堤かわまち灯りの準備協力 (平成 25 年 10 月 27 日)	五ヶ瀬川の畳堤を守る会会員やボランティア(創ろう会有志を含む)の 21 名で草取り作業を実施
畳堤かわまち灯りの一斉点灯 (平成 25 年 11 月 4 日)	五ヶ瀬川の畳堤を守る会会員やボランティア(創ろう会有志を含む)の 30 名で一斉点灯を実施(北東の風により右岸は消灯。ほぼ左岸のみの点灯となり課題が残った)
畳堤 草取りボランティア (平成 26 年 11 月 15 日)	五ヶ瀬川の畳堤を守る会会員やボランティア(創ろう会有志を含む)の 15 名で草取り作業を実施
畳堤 草取りボランティア (平成 27 年 9 月 27 日)	五ヶ瀬川の畳堤を守る会会員やボランティア(創ろう会有志を含む)の 47 名で草取り作業を実施
畳堤 草取りボランティア (平成 28 年 8 月 28 日)	五ヶ瀬川の畳堤を守る会会員やボランティア(創ろう会有志を含む)の 約 30 名で草取り作業を実施

### ■H26 水防功労大賞受賞、H27 土木学会選奨土木遺産として認定

五ヶ瀬川の畳堤を守る会を中心とした維持管理活動や、畳堤に観光資源として光を当てた「畳堤かわまち灯り」等のこれまでの取り組みが評価され、平成 26 年 11 月 16 日に水防功労大臣賞を、平成 27 年 9 月には土木学会選奨土木遺産に認定されるなど、各方面から高い評価が得られました。



### ■認知度UP・内外の活動が活発化

畳堤プロジェクトにより整備進行中の畳堤散策路は、供用開始箇所から地域住民に日常利用されています。

各方面からの受賞を機に、記念碑や紹介看板が設置され、認知度のさらなる向上を後押ししています。また、県外はもとより延岡市民の認知度も上がっています。



「20 年前はこれが畳堤だと誰も知らなかった！」と近隣住民の声

## アクションプラン

- 畳堤周辺の散策路整備を進め、今後の畳堤に関する取り組みを考える「畳堤プロジェクト」を推進する。
- 「畳堤かわまち灯り」開催に際しての畳堤周辺の草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討する。
- 歴史・文化資源の畳堤を延岡の観光に結びつけるために、五ヶ瀬川の畳堤を守る会が行う小中学校と連携した広報・啓発活動を支援する。



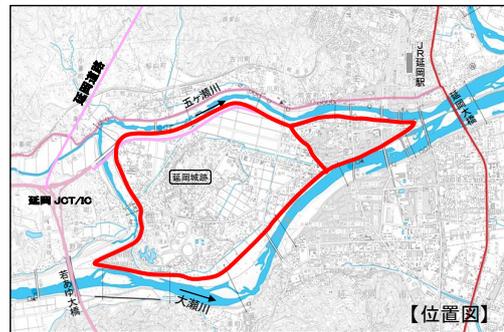
### 3) 河川敷を利用した散策利用

#### ■概要

川中地区の市街地には、畳堤や二線堤※1、水神様をはじめ、魅力ある歴史的遺構が数多く点在しています。

これらの歴史的遺構を結ぶまちあるき散策コース（ウォーキングコース・フットパス）等を設定し、市民が日常的に散策したくなるような河川空間の創出・観光客の誘致を図り、さらなる五ヶ瀬川の魅力向上を目指します。

※1 二線堤：本堤防背後の堤内地に築造される堤防のこと



#### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
延岡アースデイへの参画	平成 26 年 3 月 16 日	一斎清掃活動への参加(草刈り、ゴミ拾い等の清掃)
まち歩き散策コースの設定	平成 26 年 10 月 29 日	市街部の魅力ある施設を歩き回り、歴史的遺構や魅力ある施設を散策する「まちあるき散策コース」を設定し、マップを作成した。
畳堤沿いの散策路整備(畳堤プロジェクト)	平成 26 年 8 月 6 日~	畳堤の維持管理や周辺を安全に散策利用できることを目的に、地域と連携して畳堤周辺の整備計画を検討。
歩・走・輪 ing-Path プロジェクト	平成 26 年 11 月 25 日~	まだつながっていない散策路の舗装をつなげて気持ちよく使って頂くために、事前に利用者の意見を聞く場を設ける。
QRコードを利用した「距離標かわまち周辺情報」の提供	平成 27 年 4 月 13 日	五ヶ瀬川・大瀬川沿いに設置してある距離ポスト上に「距離標かわまち周辺情報」のQRコードを貼付、周辺情報の入手を可能とした。
まち歩き散策コースマップの配布	平成 28 年 3 月 7 日	(一社)延岡観光協会および延岡市内のホテル・旅館に散策コースマップを配布し、観光客が気軽に五ヶ瀬川や周辺の魅力スポットに訪れることができるようにした
散策コース踏査、散策ガイド向け解説例文の整備	平成 28 年 10 月 18 日	部会にて「まちあるき散策コース」を踏査し、散策ガイドが見所解説できるための解説例文を作成
散策会を開催(延岡歩こう会)	平成 28 年 12 月 18 日	ガイド向け解説例文を活用した「散策会」を開催



延岡アースデイ



散策コースの踏査



部会で作成した散策マップ



QRコード  
(距離標の周辺情報)

## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■回遊できる散策路の整備

下記3つのプロジェクトを通じた散策路整備により **高水敷に残っていた未舗装箇所が舗装され**、未舗装箇所は下流側の市街地部分のみとなりました。

- ・歩・走・輪 ing-Path プロジェクト
- ・畳堤プロジェクト
- ・大貫水辺プロジェクト

これにより、マラソン練習会や大会企画のほか、**中学・高校の陸上部や大会に利用されたり、延岡歩こう会主催の散策会（約50名参加）等、アスリートタウン延岡として望ましい「かわまちづくり効果」**が表れてきています。

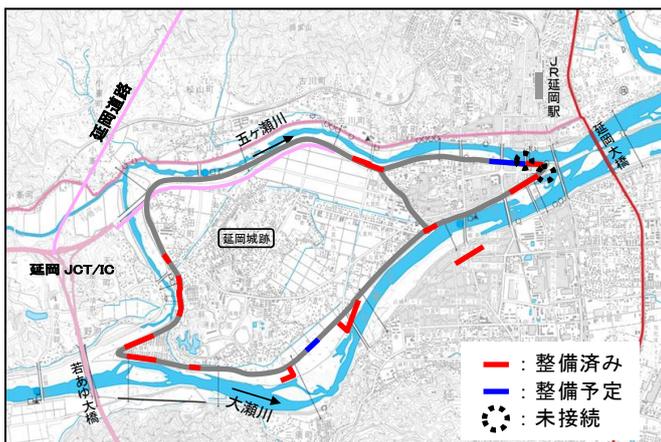


延岡歩こう会主催で開催された「散策マップ」を活用した散策会（平成28年12月）

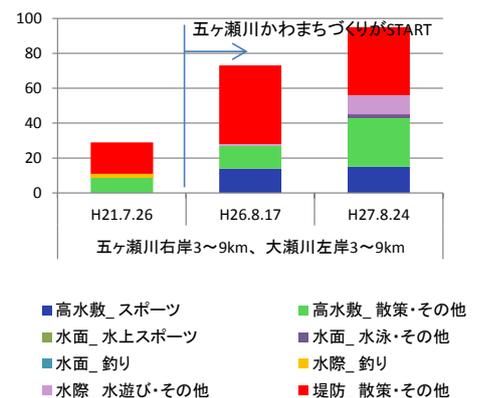
### ■川中地区の河川利用者数が増加

その他、**日常的な利用においても河川利用者数が増加**しています。

なかでも高水敷（河川敷）の散策利用者数が H27 年は H26 年比で倍増し、朝夕のジョギング・散歩コース、通勤・通学コースなど、延岡市民の日常生活での利用頻度が高まっています。



川中地区 河川利用者数の推移(夏季休日の瞬間値)



## アクションプラン

- 「かわ」と「まち」を結ぶための「回遊できる散策路」の整備を進める。
- 市街地部も含めた魅力ある施設を廻るなどの散策コースを設定し、JR九州ウォーキング等との連携による、散策利用者の増加を検討する。また、延岡市民に地域の魅力を知ってもらうためのマップの設置、市民対象の散策を実践する。
- 歴史解説や散策コースの案内について、ボランティア協会等との連携による案内実施を検討するほか、これらの歴史情報等を学習し、案内人を育成することも必要となることから、人材育成の取り組みについての検討を行う。
- 散策路周辺の定期的な草刈りや清掃など、維持管理活動の協力体制を検討する。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・ 散策意欲を高めるために、散策コースに沿って次の見所紹介のサイン設置等の検討が必要です。
- ・ 延岡市の補助制度「健康長寿ポイント」等、既存の補助制度の活用検討が必要です。

## (2) 文化・自然活動ゾーン（五ヶ瀬大橋上流） アクションプラン

### 1) 五ヶ瀬川を利用した観光振興 アクションプラン（延岡花物語～このはなウォーク～）

- 「延岡花物語～このはなウォーク～」の継続開催のために必要となる支援策とその対応を引き続き検討する。
- 河津桜の立ち枯れ等維持管理の将来の課題について、ハード・ソフトを連携させて長期的視点で検討する。ソフト対応としては、将来の維持管理の担い手募集を行う。

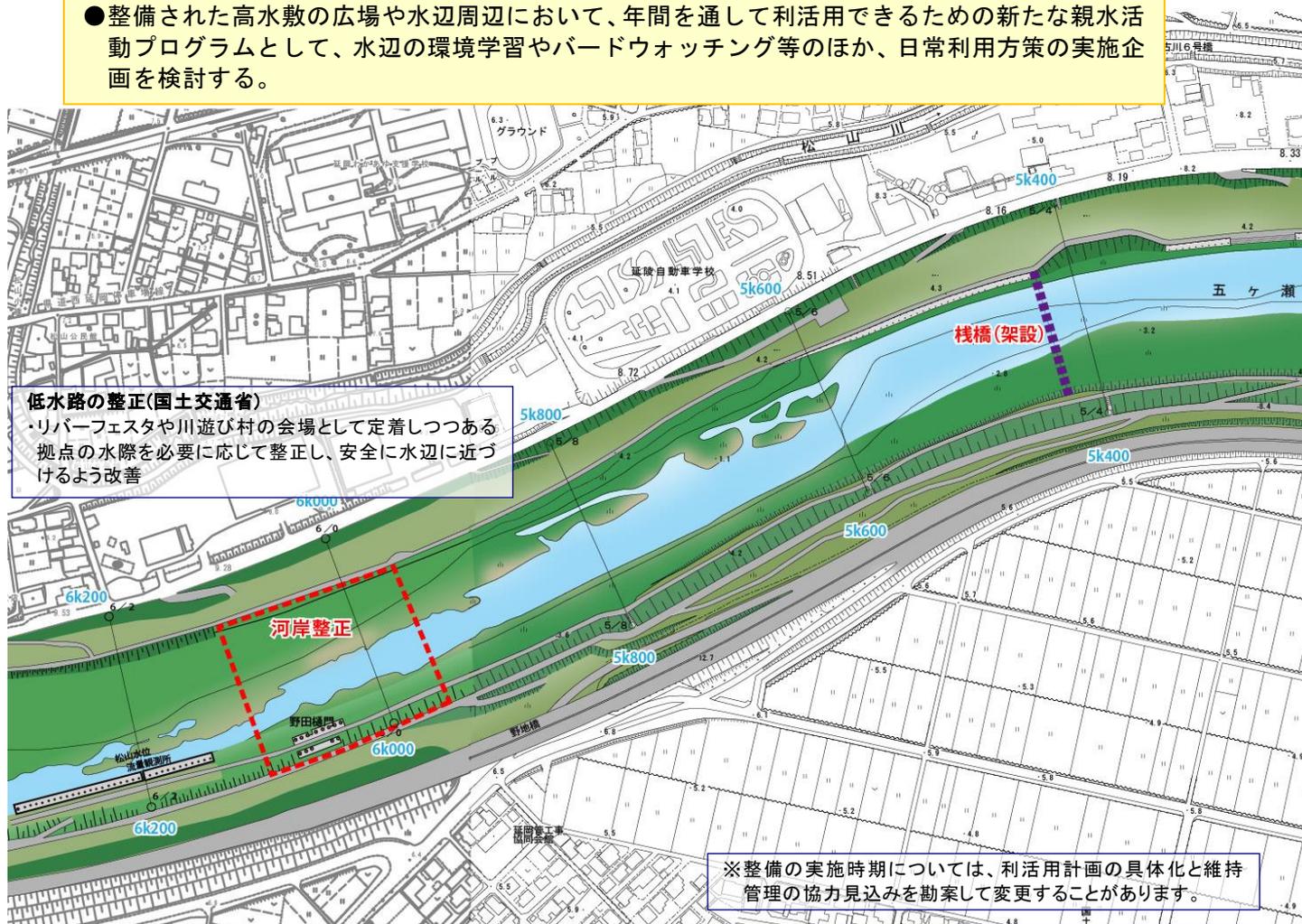
### 2) ふるさとの川、五ヶ瀬川の魅力再発見 アクションプラン

#### （リバーフェスタのべおか・お父さんお母さんのための川遊び村）

- 必要に応じて低水路の整正など水際の実用性を高める整備を検討し、将来、夏以外に活動を展開する時には新たな候補地での展開を検討する。
- 五ヶ瀬川を会場とした「リバーフェスタのべおか」の継続開催に必要な支援策とその対応を検討する。
- 「リバーフェスタのべおか」開催に合わせた草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討・実施する。
- 五ヶ瀬川での親水活動促進のため、水質日本一の継続に向けた啓発活動を行う。
- 五ヶ瀬川の利用促進を図るための「お父さん、お母さんのための川遊び村」を継続開催する。

### 3) 年間を通じた日常利用 アクションプラン

- 堤防上や散策路を利用した散策・ジョギング利用について、現状の利用状況を継続するために必要となる取り組みとその対応を検討する。
- 整備された高水敷の広場や水辺周辺において、年間を通して利活用できるための新たな親水活動プログラムとして、水辺の環境学習やバードウォッチング等のほか、日常利用方策の実施企画を検討する。



《引き続き検討すべき事項》

1) 五ヶ瀬川を利用した観光振興（延岡花物語～このはなウォーク～）

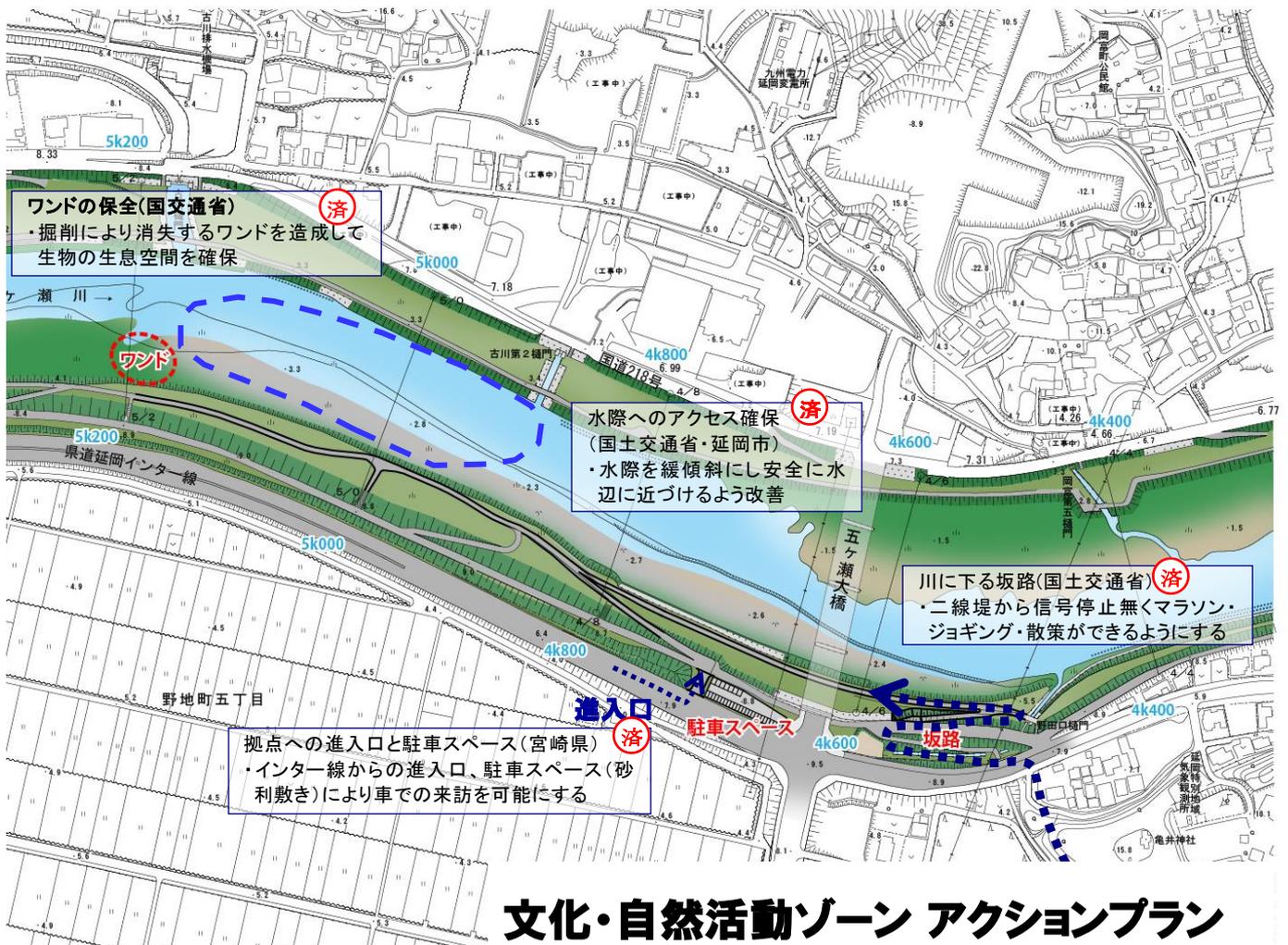
- ・桜・菜の花の区間について、一般の方に親しみが持てる名付けができるために、アイデアを公募するか・数案考案するか等の、募集方法の検討が必要です。

2) ふるさとの川、五ヶ瀬川の魅力再発見（リバーフェスタのべおか・川遊び村）

- ・今後は新しい候補地でのイベントを検討することが必要です。
- ・イベント開催に向けて延岡市以外の補助金申請を検討することが必要です。
- ・ボランティア募集（高等学校等）の拡大が必要です。

3) 年間を通した日常利用

- ・安全に親水活動プログラムを実施するために、川に学ぶ体験活動協議会（RAC）が行う川の指導者養成講座を受講するなど、指導スタッフのさらなるスキルアップが必要です。





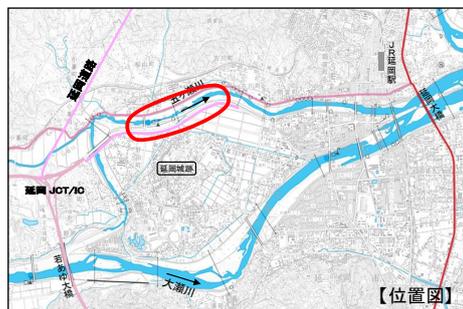
## 1) 五ヶ瀬川を活用した観光振興 (延岡花物語～このはなウォーク～)

### ■概要

五ヶ瀬川を対象として、延岡アースデイなどを通じて植栽した菜の花と河津桜（天下一ひむか桜）の景観を市民に楽しんでもらおうと平成 22 年から「天下一ひむか桜菜の花まつり」を開催し、平成 25 年までに 5 回の開催を数えてきました。

平成 26 年からは本東寺や城山にも範囲を広げ「延岡花物語～このはなウォーク～」として開催してきました。

この「延岡花物語～このはなウォーク～」の取り組みを五ヶ瀬川にて継続的に開催し、五ヶ瀬川での代表イベントとして位置付け、より一層河津桜や菜の花を中心とした景観向上や散策による日常利用の促進を図り、市民や観光客が今まで以上に五ヶ瀬川に接する機会を広く提供することを目指します。



### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
第 1 回延岡花物語	平成 26 年 2 月 14～16 日	当日のスタッフ協力参画
第 2 回延岡花物語	平成 27 年 1 月 15 日	会場設営のための事前準備協力(草刈り清掃等)
	平成 27 年 2 月 21 日	当日のスタッフ協力参画
第 3 回延岡花物語	平成 28 年 2 月 27～28 日	当日のスタッフ協力参画
天下一ひむか桜の会が国土交通大臣表彰を受賞	平成 29 年 1 月 22 日	天下一ひむか桜の会が、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」一般部門のグランプリを受賞
第 4 回延岡花物語	平成 29 年 2 月 25～26 日	当日のスタッフ協力参画

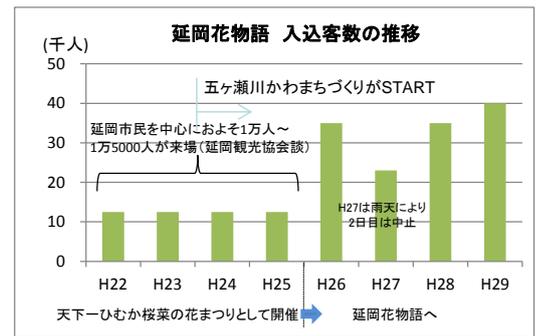


延岡花物語～このはなウォーク～の開催状況（平成 27 年 2 月）

## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■「延岡花物語」入込客数の増加

平成 25 年まで「天下一ひむか桜菜の花まつり」として 5 回の開催を重ね、平成 26 年から延岡花物語実行委員会 が新たに「延岡花物語」として規模を拡大して平成 28 年まで 3 回開催しました。延岡花物語の入込客数は、前身の菜の花まつりと比較して倍増しており、今では延岡を代表する五ヶ瀬川でのイベントに発展しています。



### ■まつりを支える桜・菜の花の維持管理の担い手が組織化

これまで桜・菜の花の日ごろの維持管理は、天下一ひむか桜の会が少人数で行っていましたが、高齢化に伴い継続的な維持管理が危ぶまれていました。そこで、平成 28 年 2 月に「コノハナロード市民応援隊」が結成され、多くの応援隊がひむか桜と菜の花の管理に携わるようになりました。

### ■市民と協働のひむか桜の根腐れ対策

かねてより懸案になっていたひむか桜の根腐れ対策は、延岡市の「協働・共汗公園づくり事業」により、市民と協働した検討会を通じて掘削・配水管設置等の根腐れ対策が行われています。

また、延岡市による「給水管施設工事」により菜の花散水用の水道設備が設置されるなど維持管理環境改善のための取り組みが進んでおり、今後の継続発展が期待されています。



市民と協働したひむか桜の立ち枯れ対策作業（平成 28 年 2 月 7 日）



延岡市が設置した水道設備

### ■天下一ひむか桜の会が、国土交通大臣表彰を受賞

長年にわたる桜・菜の花の日常管理や維持管理を市民参加活動に発展させた功績等が認められ、平成 29 年 1 月に天下一ひむか桜の会が、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」一般部門のグランプリを受賞しました。手づくり郷土賞グランプリ受賞の ⇒ 挨拶をする松田代表(平成 29 年 1 月)



## アクションプラン

- 「延岡花物語～このはなウォーク～」の継続開催のために必要となる支援策とその対応を引き続き検討する。
- 河津桜の立ち枯れ等維持管理の将来の課題について、ハード・ソフトを連携させて長期的視点で検討する。ソフト対応としては、将来の維持管理の担い手募集を行う。

### 《引き続き検討すべき事項》

- 桜・菜の花の区間について、一般の方に親しみが持てる名付けができるために、アイデアを公募するか・数案考案するか等の、募集方法の検討が必要です。

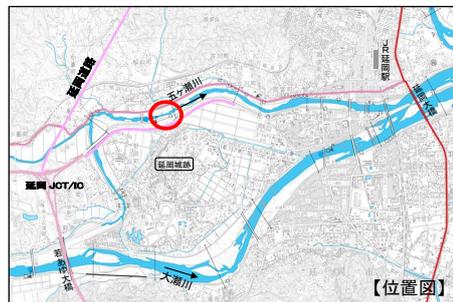


### ■概要

「リバーフェスタのべおか」は、子どもたちに『ふるさとの川、五ヶ瀬川の魅力再発見』のための教育・啓発を目的に開催されており、平成27年の開催で22周年を迎えました。

平成25年の開催から、会場を比較的親水活動に適している五ヶ瀬川に移して実施を図りました。

今後は、引き続き、五ヶ瀬川にて「リバーフェスタのべおか」の取り組みを支援するとともに、五ヶ瀬川を親水活動の拠点とした新たなプログラムの検討を進め、市民による『ふるさとの川再発見』を通して、市民に地元の川の素晴らしさを伝え、市民が川に接する機会を広く提供し、郷土愛を育成することを目指していきます。



### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
第20回リバーフェスタのべおか	平成25年8月2日	会場設営のための事前準備協力(草刈り清掃等)
	平成25年8月4日	当日のスタッフ協力参画
お父さん、お母さんのための川遊び村の企画・村会議	平成26年3月～	実施内容、現地確認・草刈り、担当者の役割分担や安全対策等を協議
	平成28年3月計25回	
お父さん、お母さんのための川遊び村(試行)	平成26年7月12日	イベント開催に伴う五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃
	平成26年7月20日	新たな水遊び安全教室プログラムの試行
第21回リバーフェスタのべおか	平成26年8月4日	当日のスタッフ協力参画
お父さん、お母さんのための川遊び村	平成27年6月19日	延岡市の「市民まちづくり活動支援事業」に事業採択
	平成27年7月11日	イベント開催に伴う五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃
	平成27年7月20日	水遊び安全教室プログラムの本格開催
第22回リバーフェスタのべおか	平成27年8月2日	当日のスタッフ協力参画
お父さん、お母さんのための川遊び村	平成28年7月9日	イベント開催に伴う五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃
	平成28年7月18日	水遊び安全教室プログラムの継続開催
第23回リバーフェスタのべおか	平成28年8月7日	当日のスタッフ協力参画
お父さん、お母さんのための川遊び村	平成29年7月8日	イベント開催に伴う五ヶ瀬川河川敷の草刈り・清掃
	平成29年7月16日	水遊び安全教室プログラムの継続開催



お父さん、お母さんのための川遊び村  
22

リバーフェスタのべおか

## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■新企画「お父さんお母さんのための川遊び村」の立ち上げ・定着

リバーフェスタのべおか実行委員会により、子どもを対象とした「リバーフェスタのべおか」がこれまでに23回開催されましたが、子どもに加え子どもを引率する保護者を対象とした新たな親水プログラム「お父さんお母さんのための川遊び村」を開催するべく個別部会「村会議」が平成26年から立ち上がりました。

平成26年7月の試行開催を経て、平成27年度からは新たに川遊び村実行委員会を組織して延岡市の「市民まちづくり活動支援事業」を活用した運営を行っています。既に五ヶ瀬川かわまちづくりの取り組みから独立した組織として活躍しています。



部会から発展した村会議

### ■五ヶ瀬6K付近が「川遊び拠点」として定着

「お父さんお母さんのための川遊び村」と「リバーフェスタのべおか」とで同じ場所を会場とすることになったため、会場設営のための草刈り作業においては両イベント間で協力・連携により効率化を図ることになりました。

これにより、会場となる五ヶ瀬川6.0km左岸が「川遊び」の場として延岡市民に認知されるようになり、イベント開催による利用と管理の積み重ねにより、他の箇所よりも水際の草丈が抑えられ、日常的に水際にアクセスしやすい環境が維持されるようになってきています。

安全に水辺まで近づきやすい日常的な「川遊び」の拠点としても定着しつつあります。

川遊び会場となる五ヶ瀬川6.0kmの様子⇒  
周囲よりも草丈が低く安全に水際にアクセスできる



会場設営における協力連携



## アクションプラン

- 必要に応じて低水路の整正など水際の利用性を高める整備を検討し、将来、夏以外に活動を展開する時には新たな候補地での展開を検討する。
- 五ヶ瀬川を会場とした「リバーフェスタのべおか」の継続開催に必要な支援策とその対応を検討する。
- 「リバーフェスタのべおか」開催に合わせた草刈りや清掃などの維持管理活動の協力体制を検討・実施する。
- 五ヶ瀬川での親水活動促進のため、水質日本一の継続に向けた啓発活動を行う。
- 五ヶ瀬川の利用促進を図るための新たな企画として、「お父さん、お母さんのための川遊び村」を継続開催する。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・ 今後は新しい候補地でのイベントを検討することが必要です。
- ・ イベント開催に向けて延岡市以外の補助金申請を検討することが必要です。
- ・ ボランティア募集（高等学校等）の拡大が必要です。



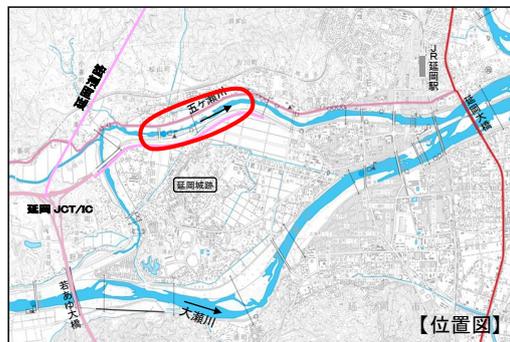
### 3) 年間を通した日常利用

#### ■概要

文化・自然活動ゾーンには見通しの良い堤防散策路があり、散策路沿いの河津桜や菜の花等の景観を楽しみながら歩けるため、市民の日常的なジョギング・散策コースとして親しまれています。

一方、河川敷や水辺空間には安全にアクセスすることが難しい等の課題があることから、水辺の利用性を向上させるために堤防上の散策路空間と水辺空間との機能が融合したゾーンとしての整備が進められています。

今後は、清流五ヶ瀬川の水辺空間で、子どもたちが四季の移り変わりを感じながらジョギングや散策が継続して行われるとともに、多目的広場としての活用や親水活動等による日常利用の促進を目的とした新たなプログラムの追加を検討します。



#### ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
拠点水際の緩傾斜化(掘削)	平成 26 年 2~3 月	五ヶ瀬大橋付近(右岸)の水際の緩傾斜化(掘削)
歩・走・輪 ing-Path プロジェクト	平成 26 年 11 月 25 日~	利用者の意見を聴取しながら回遊できる散策路の舗装整備を実施
文化・自然活動ゾーン部会での現地踏査	平成 27 年 12 月 3 日	現状拠点の位置付け見直し、新たな拠点探索のための五ヶ瀬川現地状況の確認



五ヶ瀬大橋上流 (掘削前の状況)



歩・走・輪 ing-Path プロジェクト



日常的な散策・ジョギング利用



拠点水際の緩傾斜化 (掘削)



坂路・散策路整備状況 (五ヶ瀬大橋付近)



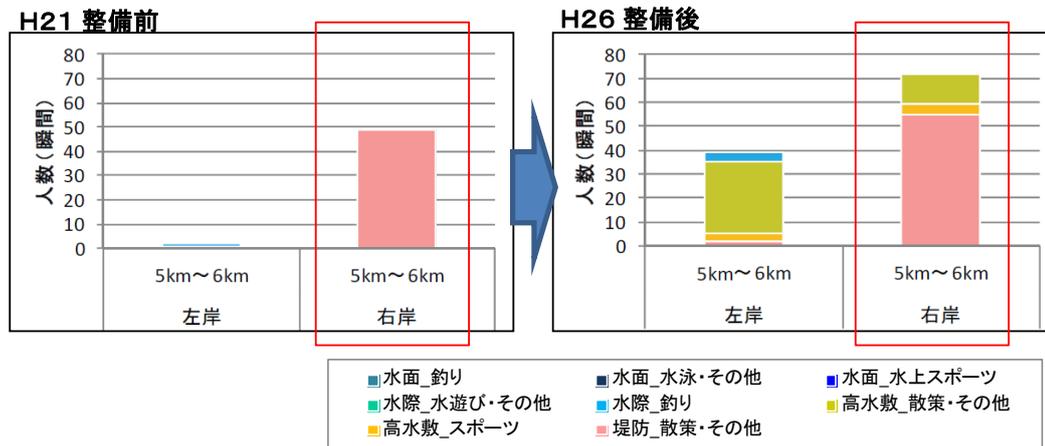
中高生による釣り利用

## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■堤防散策路での散策・ジョギング利用者数が増加傾向

水際の緩傾斜化・散策路整備を行った文化・自然活動ゾーンでは、近年は年間を通じた日常的な利用者数が増加しています。

ひむか桜・菜の花の花壇沿いを通る堤防散策路での散策・ジョギング利用者数の増加に加え、高水敷の散策路の利用者数も増加しています。



文化・自然活動ゾーン 年間利用者数の推移（日常利用）

### ■ワンドの復元による自然環境の保全

文化・自然活動ゾーンには、五ヶ瀬川 5.2 km右岸側では、もともとあったワンドを復元し自然環境の保全を図っています。

整備から約2年後の現在は、多くの水鳥の休息場所として利用されるなど良好な自然環境が保たれており、ワンド箇所を自然環境保全ゾーンとして位置付けることになりました。

また、このワンドを活用して文化・自然活動ゾーンの利活用メニューの一つであるバードウォッチングの企画も現在検討中であり、自然観察の場として活用される予定です。



五ヶ瀬川 5.2 km右岸のワンド  
多くのカモ類が休息に利用している

## アクションプラン

- 堤防上や散策路を利用した散策・ジョギング利用について、現状の利用状況を継続するために必要となる取り組みとその対応を検討する。
- 整備された高水敷の広場や水辺周辺において、年間を通して利活用できるための新たな親水活動プログラムとし、水辺の環境学習やバードウォッチング等のほか、日常利用方策の実施企画を検討する。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・安全に親水活動プログラムを実施するために、川に学ぶ体験活動協議会（RAC）が行う川の指導者養成講座を受講するなど、指導スタッフのさらなるスキルアップが必要です。

### (3) 自然の恵み体験拠点（大瀬大橋下流） アクションプラン

#### 1) 「鮎やな」を中心とした観光振興 アクションプラン

- 延岡観光協会、延岡市等との情報共有を図り、自然の恵み体験拠点の広場と建物の一体的な利活用方策を検討する。
- 「延岡水郷鮎やな」の設置時期に合わせた伝統文化ステージ、郷土芸能、河川敷の活用等、「鮎やな」を中心とした観光振興の取り組みについて、必要となる支援策とその対応について検討する。

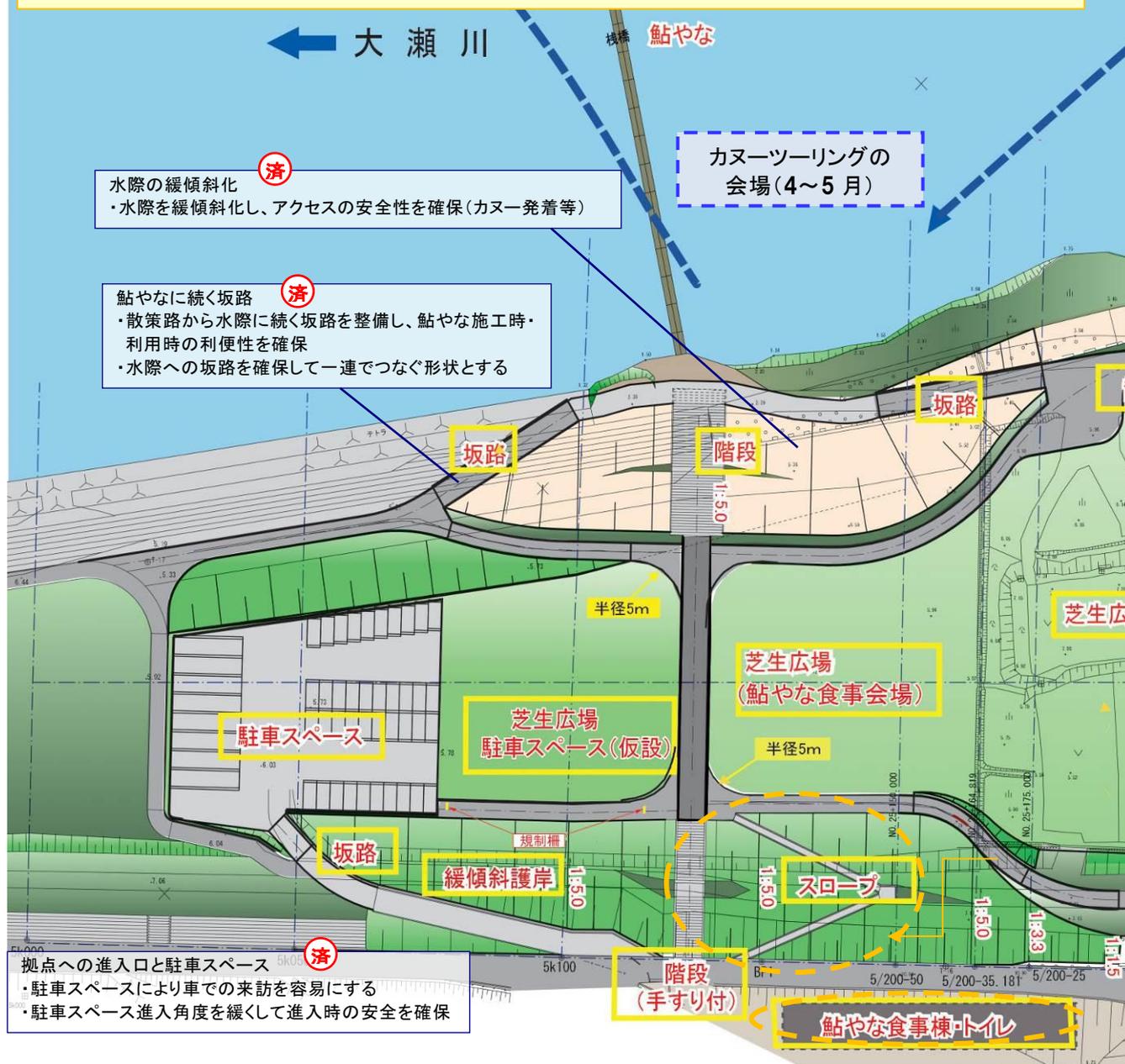
#### 2) 大貫地区改修整備に合わせた年間を通じた日常利用 アクションプラン

- 大貫地区改修整備の進捗に合わせ、年間を通じた賑わいを創出するための新たな河川空間の利用の検討を行うとともに、草刈りや清掃活動等の維持管理方策の協力体制を検討する。
- 対岸の古城地区の利活用推進に対して、近隣拠点としての情報共有、支援要請等の協力を図る。

#### 3) カヌーツーリングを中心としたまちなかツアー アクションプラン

(平成 26 年、27 年に大瀬川で「まちなかカヌーツーリング in 五ヶ瀬川」を開催)

- 当面の目標として毎年 4 月開催の定着化、多くの参加者を募るための広報の取り組みを行う。
- 今後は、定期的な開催に向けた課題への対策検討、まちなかツアーとしての展開などの関係者調整の取り組みを行う。



## 《引き続き検討すべき事項》

### 1) 「鮎やな」を中心とした観光振興

- ・ 今後は延岡観光協会、延岡市等との情報共有により、広場と建物の一体的な利活用方策の検討が必要です。

### 2) 年間を通じた日常利用

- ・ 広場の日常の管理を伴う利用候補者を募るためには、継続的に利用環境を維持するための「利用と管理のルール」を設定し、条件を提示した上で調整を図り、利用促進に取り組むことが必要です。そのため、延岡市の占有対応等についての情報共有を図ります。
- ・ 利用のルール等を含めた利用促進 PR に努めることも必要です。
- ・ 対岸の古城地区の整備や利活用の計画について、情報の共有や支援要請の協力等の体制を検討します。

### 3) カヌーツーリングを中心としたまちなかツアー

- ・ 取り組みが定着できるように、「日本一の清流」でのカヌーツアー開催の魅力を広く知ってもらう広報を行い、県内外に積極的にPRするなど、参加者数を確保するための取り組みが必要です。また、まちなかツアーとしての展開を図るため、コースや実施時期について、関係者間との調整が必要です。
- ・ 毎年7月に開催されている「五ヶ瀬川イカダ下り大会」が自然の恵み体験拠点を活用できるように、部会で連携して支援できる方策を検討することが必要です。



## 自然の恵み体験拠点 アクションプラン

# 1) 「鮎やな」を中心とした観光振興

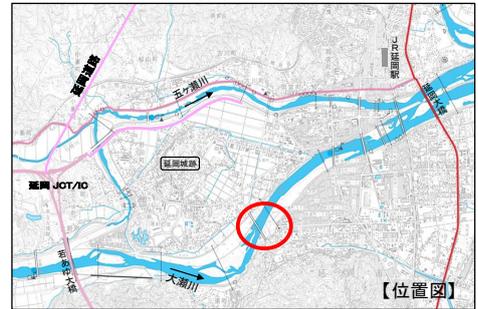


## ■概要

延岡の秋の風物詩になっている大瀬川に架かる「鮎やな」は300年以上もの歴史を有しており、毎年多くの観光客が訪れています。

また、(一社)延岡観光協会を中心に「伝統」をテーマとした300年の「鮎やな」の歴史を観光客に感じさせる様々な演出の取り組みが行われています。

「鮎やな」を中心とした観光振興の取り組みを継続していくものとし、併せて、「かわまち交流館」の通年利用計画の検討を進め、「鮎やな」を中心とした観光振興としての河川空間利用の充実を目指します。



## ■これまでの活動状況

項目	時期	活動内容
かわまち交流館の営業	毎年10~12月初旬	鮎やなおよび鮎やな食事処による観光・食事利用
大貫水辺プロジェクト	平成26年度	地域と連携した多目的広場の基盤整備
大貫かわまち交流広場完成式典	平成27年5月1日	大貫かわまち交流広場・かわまち交流館がオープン
都市・地域再生等利用区域に指定	平成28年11月30日	自然の恵み体験拠点一帯が、国土交通省から「都市・地域再生等利用区域」に指定され、河川敷地占用許可準則の緩和により河川敷地での営業活動、かわまち交流館の年間設置ができるようになった



年間利用できるように常設され「かわまち交流館」としてオープン



「鮎やな」期間中は多くの観光客が見物に訪れる



延岡小学校児童による「清掃活動」  
「かわまち交流館」の見学

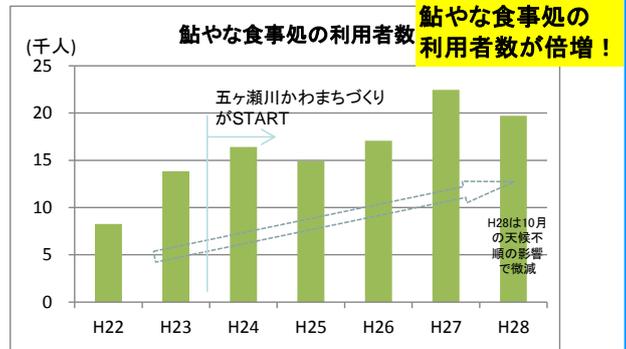
## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■かわまち交流館(鮎やな食事処)の来訪者数が倍増し当初目標を達成

平成 27 年の鮎やな時期のかわまち交流館の利用者数は史上最多の 22,447 人となり、目標としていた 2 万人を達成しました。鮎やな期間以外でも、かわまち交流館は非営利の活動中心に様々な団体から利用されており、平成 27 年度は延べ 1,000 人を超える市民に利用されました。



鮎やな期間中の賑わい(平成28年11月)



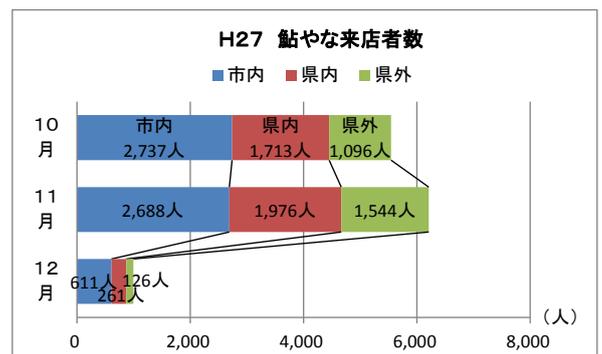
かわまち交流館(食事処)利用者数(延岡観光協会調べ)

### ■県外からの来訪者、大型バスも乗り入れる観光拠点に発展

平成 27 年は、来訪者の約 47%が延岡市内、約 31%がその他県内、約 22%が県外からの来訪者でした。(延岡観光協会調べ) 大型観光バスも乗り入れる一大観光拠点に発展しつつあります。



熊本から来訪の大型バス(平成27年11月)



鮎やな来店者の内訳(延岡観光協会調べ)

### ■自然の恵み体験拠点一帯が都市・地域再生等利用区域に指定(県内初)

延岡市における「鮎やな」の位置付けや、(一社)延岡観光協会を中心とした地域主体の活動成果が認められ、平成 28 年 11 月には国土交通省から自然の恵み体験拠点一帯が「都市・地域再生等利用区域」として指定されました。これにより河川敷地占用許可準則が緩和され、河川敷地で飲食店や売店、川床など、の営業活動ができるようになりました。

## アクションプラン

- 延岡観光協会、延岡市等との情報共有を図り、自然の恵み体験拠点の広場と建物の一体的な利活用方策を検討する。
- 「延岡水郷鮎やな」の設置時期に合わせた伝統文化ステージ、郷土芸能、河川敷の活用等、「鮎やな」を中心とした観光振興の取り組みについて、必要となる支援策とその対応を検討する。

### 《引き続き検討すべき事項》

- 今後は延岡観光協会、延岡市等との情報共有により、広場と建物の一体的な利活用方策の検討が必要です。



## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■花火大会の会場としてバージョンアップ

大貫かわまち交流広場は、まつりのべおか花火大会の会場になっています。平成 27 年 7 月には広場が整備されて初めての花火大会が開催され、多くの観覧客による利用や河川敷での出店などで大いに賑わいました。

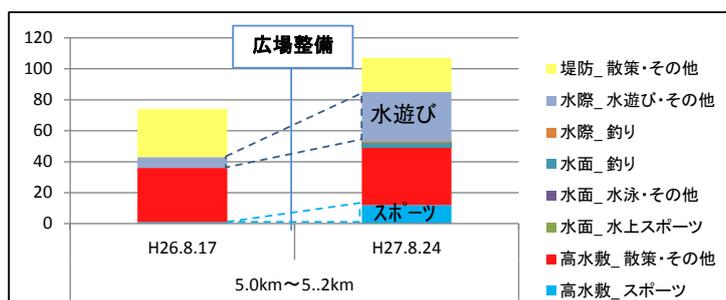


### ■水遊び場としての利用者が増加

広場整備により 安全に水際に近づけるようになったため、夏場は「水遊び」の利用者数が大幅に増加しました。



夏季の水遊び利用者



大貫かわまち交流広場の利用者数の推移 (夏季休日)

### ■広場整備の相乗効果(かわまち交流館)

広場に隣接の「かわまち交流館」に仮設トイレが設置されたため広場利用者（特に団体）の長時間の滞在が可能になりました。現在は、小学校による環境学習・清掃や中学校のロードレース大会等の利用など、組織的に日常利用される機会が増加しています。



### ■都市・地域再生等利用区域に指定・全建賞を受賞

自然の恵み体験拠点が「都市・地域再生等利用区域」に指定され、今後は河川敷地占用許可準則の緩和が可能になりました。また、これまでの一連の取組みが評価され、五ヶ瀬川かわまちづくり事業（鮎やな周辺整備）が一般社団法人全日本建設技術協会より 全建賞を受賞しました。

## アクションプラン

- 大貫地区改修整備の進捗に合わせ、年間を通した賑わいを創出するための新たな河川空間の利用の検討を行うとともに、草刈りや清掃活動等の維持管理方策の協力体制を検討する。
- 対岸の古城地区の利活用推進に対して、近隣拠点としての情報共有、支援要請等の協力を図る。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・広場の日常の管理を伴う利用候補者を募るためには、継続的に利用環境を維持するための「利用と管理のルール」を設定し、条件を提示したうえで調整を図り、利用促進に取り組むことが必要です。そのため、延岡市の占有対応等についての情報共有を図ります。
- ・利用のルール等を含めた利用促進 PR に努めることも必要です。
- ・対岸の古城地区の整備や利活用の計画について、情報の共有や支援要請の協力等の体制を検討します。

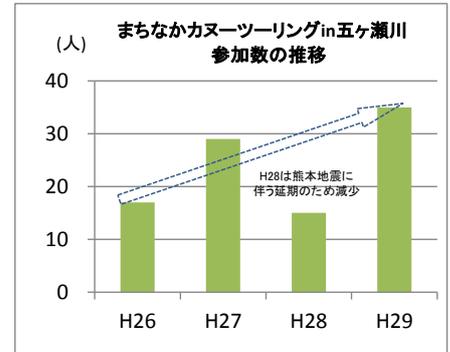


## 取り組みによる「かわまちづくり効果」

### ■延岡の五ヶ瀬川を活かした唯一のレジャーイベント

延岡の中心を流れる五ヶ瀬川での唯一のレジャーイベントとして観光地延岡の新たな遊び場を開拓できる可能性を秘めた取り組みです。

平成28年5月に開催された第3回からはさらに遊びの要素を増やして参加者を楽しませる企画もあり、今後の川レジャーの盛り上がりが期待されています。



### ■関係機関の連携のもと、定期的なイベントとして軌道に乗りつつあります

NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク、NPO法人ひむか感動体験ワールド(ノベスタ)、延岡五ヶ瀬川漁業協同組合、(一社)延岡観光協会とが強固に連携することで、各方面から様々な協力を得ながら、レジャーの安全性に配慮しつつ新たな楽しみが味わえる定期的なイベントとして軌道に乗り、定着しつつあります。



カヌーのガイドはノベスタの皆さんが担当します



お昼は鮎づくしの川漁師めし(かわまち交流館にて)



延岡観光協会スタッフが参加者に鮎の食べ方を解説します

## アクションプラン

- 当面の目標として毎年4月開催の定着化、多くの参加者を募るための広報の取り組みを行う。
- 今後は、定期的な開催に向けた課題への対策検討、まちなかつァーとしての展開などの関係者調整の取り組みを行う。

### 《引き続き検討すべき事項》

- ・取り組みが定着できるために、「日本一の清流」でのカヌーツァー開催の魅力を広く知ってもらう広報を行い、県内外に積極的にPRするなど、参加者数を確保するための取り組みが必要です。また、まちなかつァーとしての展開を図るため、コースや実施時期について、関係者間との調整を進めていきます。
- ・毎年7月に開催されている「五ヶ瀬川イカダ下り大会」が自然の恵み体験拠点を活用するために、部会で連携して支援できる方策を検討することが必要です。

# 天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会 委員名簿

平成 29 年 8 月時点 順不同 敬称略

所属・役職	氏名	備考
緑清園 代表（樹木医）	今井 敏喜	文化・自然活動ゾーン部会
延岡走ろう会 会長	長渡 靖夫	回遊できる散策路部会
延岡走ろう会 理事長	川口 洋一	回遊できる散策路部会
NPO 法人 アスリートタウンのべおか 理事長	河野 孝夫	回遊できる散策路部会
延岡五ヶ瀬川漁業協同組合 理事	工藤 平寿郎	自然の恵み体験拠点部会
リバーフェスタのべおか実行委員会	寺田 陽介	文化・自然活動ゾーン部会
天下一ひむか桜菜の花まつり実行委員会 実行委員長	佐伯 卓信	文化・自然活動ゾーン部会長
五ヶ瀬川の畳堤を守る会 副会長	芝 弘光	回遊できる散策路部会
延岡歩こう会	中村 正	回遊できる散策路部会
NPO 法人 ひむか感動体験ワールド	成崎 聡	自然の恵み体験拠点部会
延岡市区長連絡協議会 理事	廣瀬 武男	自然の恵み体験拠点部会長
延岡市区長連絡協議会 事務局長	那須 義繁	文化・自然活動ゾーン部会
一般社団法人延岡観光協会 事務局長	古木 聖三	自然の恵み体験拠点部会
延岡アースデイ実行委員会 実行委員長	松田 庄司	文化・自然活動ゾーン部会
五ヶ瀬川イカダ下り大会実行委員会 実行委員長	島盛 佑介	自然の恵み体験拠点部会
五ヶ瀬川イカダ下り大会実行委員会 事務局長	稲田 雅之	自然の恵み体験拠点部会
社団法人宮崎県建築士会延岡支部 支部長	高橋 寿	回遊できる散策路部会長
NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク 職員	山田 大志	自然の恵み体験拠点部会
ボーイスカウト延岡 1 団	今井 武司	文化・自然活動ゾーン部会
ボーイスカウト延岡 1 団	寺崎 尚男	文化・自然活動ゾーン部会
ボーイスカウト延岡 1 団	興 梶 次郎	文化・自然活動ゾーン部会
延岡商工会議所 総務課長	広瀬 淳二	回遊できる散策路部会
宮崎県延岡土木事務所 河川砂防課 河川担当副主幹	岩元 聡	回遊できる散策路部会
延岡市 商工観光部 参事 兼 観光戦略課長	熊谷 俊一	自然の恵み体験拠点部会
延岡市 教育委員会 総務課長	尾畑 教秋	回遊できる散策路部会
延岡市 都市建設部 副参事 兼 都市計画課長	土手 健二	文化・自然活動ゾーン部会
延岡市 都市建設部 都市計画課 街路公園係長	藤川 直也	文化・自然活動ゾーン部会
延岡市 健康福祉部 健康増進課長	佐藤 欣司	回遊できる散策路部会
国土交通省 延岡河川国道事務所 調査第一課 専門官	荒巻 栄輔	回遊できる散策路部会

## 天下一五ヶ瀬かわまちアクションプラン（第4版）

平成 26 年 9 月 24 日 初版 天下一五ヶ瀬かわまち創ろう会  
 平成 27 年 3 月 2 日 第 2 版 事務局 : 延岡市役所  
 平成 28 年 2 月 8 日 第 3 版 国土交通省延岡河川国道事務所  
 平成 29 年 8 月 4 日 第 4 版